た、たがそれらは、関民をして民主々難及びそれに伴ふ左翼ない関である、なるほど日本は歐洲の商工薬(航資間を輸入し民主の薄流の民主々薬(職)人主薬(戦自由主義を継続したとの民主の漢語の民主々薬(戦)人主薬(戦自由主義を継続したとの

「及び國家主義的な熱等のりつくあつた、日本はこれまで一れて来た所である、最近歌年間、日本にはぢり~~と愛爾・一九三天年が日本にとつて非常時であるとは、古くからい一九三天年が日本にとつて非常時であるとは、古くからい

日本の愛國熱の昻揚

及び共産主義運動を報思せしめる封建主義的愛國主義の の上に建てられたのであつた、今世紀の初頭、日本は雌に一

局社會統組に急進社會級の合作體 同盟の支持を得られなかったが結

となり成立當初から弱能を経済す

同 カミーユ・ショータン 無注所相 ボール・フォー

(i)

く質励されるが、本所では新規第 ▲事務官 送労局一名、繁務局一名、繁務局一名、繁務局一名、繁務局一名、繁務局

總督府の増員

事務官、技師計十七名

心質施設の顕光に騒命をなつてゐ本的ではかねてから頻節に適した

ても変異節によって破策され、明

公会質層取の少くないのと質量! 「会談」を取の名利技が全部の部市に歴行

貧弱數字である 「一萬頭にならぬ」外國人十二名間一萬十三名といふ

社會施設擴充に本府乘出す

リヴイエール (開)

十一の四日間は海軍省闘係の事項 部第一第二部の協議を行ったが、

五六回日は軍令部關係八、九、

(社會質) 節十一名を増設するがその内閣は

から本府内に新に事跡官六名、技

農林局五名、整務局二名

成する東定である、社会施設として総を開する産技術の東京を理解として総額施設に 関する産権航東京を明年度から編

初めて内限を組織したものである

八民職が八階はボール・ボンクー 氏との交渉不調に終り社會主義

した、社會議はフランス遊戏史上

の委擬に基き四日直に後隣内閣の

に者手午後九時エリゼ宮に側 「難談内閣の服員名簿を提出

【メリ四日同盟】社會流詞補レオ

→夫人(當年三十九歳)あり閣僚|

一擲の後向九時開磨、伏見軍令部器 要なる御訓がを騙はつて直に軍令

後を申上げ、ついで永野海相に挨 管部委長四級下の御頭に何帳価族

庶民金融圓滑化二

公益質屋を増

お掘つて午野九時四十五分伏見軍 ロ要者部門に駐浦後車部を改長等

**技国版下より非常時間に座する重** 

紅一點キュ

佛國憲政史上空前

『土の事識を洗く歌戯しサローるが、許本家剛は労働者の態度に四日 同盟』フランス 政府「ウ首相以下官方調停に努力してゐ

れるに布つた。関金は全く認識せら

議は五日より向ふ六日間軍令部衙

(東京電話) 本年度海軍者認長曹

けふから六日間

合せに基言革新國策の審議を七

勞資愈よ正面衝突

**労査双方全く正面衝突の形に陥つ** を宣言した、資本家の態度強化に との強硬感見を表明し折衝打切り

**以態に陷つた、資本家は勞働部代 | 乳、卵、バターの市價は衰上りに** 

五十萬 と誰もらる、牛

フランス産業界始まつて以来 交渉に
側じない、
今回の
能業 資本案側は
船割使用者代表と

とである。政府は宜しくこの承彩を帶びた罷業は削代未開のこ重大事件でありこれ程革命的色

海軍参謀長

国の船業人就數は無節 交した、右内容は 変した、右内容は 交した、右内容は

全產業部門痲痺以

の交渉を勘提條件とし極力折

酸けてゐるが爭議團は左駆內一大量となつてゐる

資本家側硬化

おりべり市内のを撤削値は、膨齢結果脱煙交渉艦を膨保、四日夕到結果脱煙交渉艦を膨保、四日夕到 【メリ四日同盟】市場連盟大食料

**食糧飢饉一應解消** 

中央、西南の抗争は

して日本を遊黜し今後日支交渉

質の宗勢を顧回する代頃として十有利に暴かんとし一方西南派が反 時四十分 第二種備金より支出の件その他 小川西相、戦斗木選担を除く各

ないこととなり何れにしても西南 事質とすれば戦闘説は馴合にする得たとさへ解へられてゐる、若し 一敗正に関する副令等を決定し同士 件並に制令変簡鮮意業紀令中政、制合案塑飾所得税令中政正の 閣議决定事項

越路篇

16 113

に失ふ

が記述の記述

和部合

ゟ

また萬金を一瞬

授機は一擧に干金を獲

潚 作

(144

計畫を談つてはならる

35-7

馴合の

一芝居?

冷靜極る南京政府

の が日通電が登園の電人その他に 製水 関連へた影響は大であるからこれを 近 関へた影響は大であるからこれを 近 が出目される 任東大教授(二等) **韧取定時總會** 

「東京四日同盟」 東京総路は西南 西南側通常では抗日を主張する してあるが四日軍事営局は外間に (昭としてはこれを反驳する要を (駅へられる中央軍の動政令誌を正 窓めぬ)

|新しら、亡き將軍家のおことばを | にかざして願いた好おかくれ遊ばした今日、今さら事 | 『わしばかりではな

臣下として、故審はさらいふ態を、何で及、殿にさ

か。弦離も、この能には、ほと

遊ばしたもの

完成するは ひミり性を以て豫定の蓄財を 天諦の儘に絕對の唯實

保険あるの

办

一国じ果てました

۲,

り同所に開催する事となった時總會は來る二十五旦年後三一十五旦開催 - 引

取り立てム……」

言いるで思いから

けふ定例閣議

【東京電話】五日の定例閣議は午 賴母木老相

大下の俗衆が、誤解することを、

に立ち、政治を

私

脚日な御心事を、

空の旅

## 

## なが電力統制問題か

商相西下談 ○日の閣議に於て行ふ方針で各一

戸に行けれる全國輸出組合大會出事業視察底行の小川商相は途中神 【雌戸電話】脚西九州の嬰鋸鷹科

たが子の後における各省の立義統一立方は歌は民間事業に影響する所つて夫々討議することになってると見られるが類母本無理としては |現より見て三日の駅報に一層に持一覧る大なので関車な態度を以こ立 日の間離歴上者相上り腹楽を持ち「國張は此が第一に阻上によるもの

新見第二體隊、伊藤吳蘇、清水佐

并上版面對歐各等樣長以

|上たが単甲時間について左の如く 吹り三日の都識を成的りとして歌||翩翩の上武嶽が得その後改めて事||は國務省にハル長官を訪問した||帰のため五日年前九時十七分來神||七寄ることは麻鹼なため成衆順に | 綴に當りたづ鱸電省と甌篠各省と | し艦を勘談した、齋練修了後一間|

東京電話] 戯析は去る二日開設 | 議定例日毎に銀設することに方針 | 務省局に立家を命ずる方針である も過少してをり融融に於ても電力 を見ると鑑信省の電力関策策が最 を懸要した、現代各省の立案状況 米洲總領事會議

五 各意歌事より各任地の側勢を最低 海 は 一般事出席の下に開館、松永淵歴使 1 2 5本省の外交方針を概定した上 日 1 5本省の外交方針を概定した上 1 5本省の外交方針を根底とした上 1 5本省の外交方針を根底の上できません。 単館議第二日は四日午前大使館館

時廿四分水原より入城同夜半巌へ校古瀧健二氏ら卅八名八日午後零

国體往來 熊本縣球層區

を初め、老臣共が、とやかく申し 度かいつてゐた、その度形に、

て述った寫に、千載の機を逸して一下が、四ッ目の御旗を陣前に押し

田朝鮮城弥總歌その他の見渡り祖前十一時自動率で羽田に到着今井

まで飛翔する領母木脈相は五日午

官曜設途中京都に立寄り來る人務総監は池田秘書官帝園五日及務の打合を案げ帶京中の今井田 八日朝歸城――に政原 -五分京城縣着列市

午後三時東上、月末頃歸環の孝 今吉田藏道局と、東京で開宮の軽 今吉田藏道局と、東京で開宮の軽 今吉田蔵道局と、東京で開宮の軽

◆大野秀夫氏(五務省東亞課長) ・ は川東二氏(同版部) 七日釜山着入城九 氏(同順部) 七日釜山着入城九 日安東に向ふはず

のではないか

撒を、一點に

堀佐土 阪大・社本

天地文黄 とこの不快なものを抱かせてゐる いつ送もこの高額の胸中に、鬱々|立て、北條原館の

新低を発はないであらう、追戯 すの髪、達成すれば園成は恐らく ま 『女番々々。――分つた面がまへ る。こっく、際に路じてはをり せずとわしの胸中をよく聞け。 『殿の御不平は、小満の端にいた **ずなに、これが** 「それでは難い、後手だわ」 「それでは難い、後手だわ」 「こなたから、不夢に低機をのほしなからや、彼奴等の概を突くのだ」 た「かへつてそれこそ、議僚方の策 た「かへつてそれこそ、議僚方の策

の、宇治川の晴れ場で、熊鰕源太て恥しい身分でもない。……だが の先歴けしたこの四郎高線が、武 しは今、中國七州の太守だ、何の 左様な不利な軍は 一體的を正丁軍を動 日よし、老臣共の手はからね、陣 いで云った。 と、四郎島綱は、 避といふか! ごりましても 面に朱をモム

帯を配置する、時かぬ極は生え

戦東楊作指導に
朝鮮から技術

しなければ終ぶであらう

とある、からなつちゃ人間を爬 | 分が天下の権を掘つたからには、 と、この佐々本家を見髪ツてそら 老代まで 美ひ書にされたは口情 うをふいたのだ。例と、窓色のよ い。――頼朝めの肚をいへば、自 日 『薬がをようこぶ班を貸れみ避ば と、細にすがつて練言してある と、細にすがつて練言してある 置いた

な解は腕をたく

●外務社員招聘

京城府南大門通一丁目京城府南大門通一丁目

## 日本の政治情勢 英エコノミストの所

また軍隊内の政育は此の顧角から解明されなけれる。日本の軍人の大部分は監村出身と示ってとである。日本の軍人の大部分は監村出身

三つの主要モメント

軍人の態度を左右するものに三つの主要を盗がある。先づ

に外國――ヨ外職僚は益々惡化しつ」あるのだが

世紀の珠に盲月館に追駆しようとはしなくなつた。 「日本金選に失びついるる政治上の及び継續上の諸主義を胸に対する。」 「日本は義才徐々に復語した、日本は最早、陳都に於て其の 思はれた、卵し歐洲大職以後、特に現在の不説開始以來、昔時西洋流の投術と共に西洋流の思想を完全に取入れたが如く

民經濟生活の惡化

論者は之には國家による完全なる經濟統制の樹立を含ましむ 深の地方分散化を爲す必要ありといふのである、更に極端な じてゐるとである、或蓋或治が或治薦敗の沃野—— 日本の べしと主張してゐる、第三ド既放政治の運用に至く奴瞒を懸

こ、日本は目力で立ち都ることを知り、對等の待遇を要求問題の厳雄とそれに織く兩 圏相互の理解 の喪失と であつ

る、それ故に日本は日本の支配の下に配料を獲得し、また自 の関係に盆々依存しつゝあることを自然しつゝあることであ くして戦る、小作獣度を射速せざる程度に、発圜に立って正鵠れば日本は最早大規模なる工業化の政策を発行すべきでな 國製品の販路たるベミアジア大陸に自給自足の經濟聯盟を建 立せざるべからずと主張する、第二に軍人達の主能する所に

### 将來はどうなるか?

態、そしてバン廃工も職業する

バリは雅業で水飢饉、ガス飢

家自由兩主義對立

三十三ヶ所、権耐金額一千百廿一百三名、朝鮮人七千四百九十八名)ことになつた。「長的總額廿一萬四で內地の六百」は本指調査によれば內地人二千五」(低利金嶼聯級の配送機元に努める

であらう。耐糖は五世能世界と云ふ影覧枠にはめられた一般後等にして失敗せんか、日本の政治は徐々に黙を褒つて行く 家主義は復活し、大陸積極主義は復活するかも知れぬ、若し 然らずんは永遠に國民受職の期を喪ふと決心せざるを得なか った、石し現新政府の政策を支配することに成功せんか、國 國民の同館簿らぐ兆候の見えた爲め極右派の人々は今か、

タイムスは干儿百四十年の見地

質明の亡い後でも、この名分は明

夕刊六夏朝刊八夏

自についた。 沙門西佛 おせつかいなる哉、ロンドン

意物へ書いて、鸛館へ登らうと談。謎を待つてゐるにひとしい」らせる)と申したあの一言を、鰈。送いてをる。かうしてゐるのは自 ことばを待つ迄もなく、われ等臣

### 本半国一つにして佐々木売売に取 はその手がわし、來ることは見えたのだ。――(天下を取つたら日 れてゐるではないか。――やがてたのだ。――(天下を取つたら日 れてゐるではないか。――老が取ってか、所謂を認取させのうちから、この事は単してゐ 同の得があつてか、所謂を認取させる。――正くは兄の盛願は とにかざして願いた勢くの大名、武士たちの末路を見ろ! ※平の後士たちの末路を見ろ! ※平の後は第一片田舎の荒れ地へ道ひやられ、たく 日先の都でで、ねらり してゐるので 命を槍先 くかいけ蓄貯新

機能を完全に具備する 貯金 信託 保険の三 許さぬ利廻りを誇り にあつて 他の追従を然り 低金利下の現狀

唯一の新貯蓄計畫であ そ 貴下に腐むる最善

大同の特別養老保險こ

新貯金置本

お中越下さいお中越下さい

関五分四 年 率常 配益 利行現 ● 分 五 年 率引剤の科験保護期 ● 險保老養別特

城大豫科の擴張

内容充質と施設完備

ポーツ通どして知られてゐる。やがて本紙上にベルリン特報として華やかなオリンピアクニ 

韓調の在形、自動車も歴史等に比「百十九名、夏願春は二千九百十七」 死傷者の一番少い道は慶簡で四、スピート時代を演繹続に走る交通「心してある、臘楊による死縁は二 百六十八名の饗郎書を出してある「餘をむり、賈勰を掌げてみるが、「利九年度より陳一刻五分の場別を「陳都も十三道中これ受第一世で五命となり、賈詡を掌げてみるが、「利九年度より陳一刻五分の場別を「陳都も十三道中これ受第一世で五命となり、真正を正めては交通事故院正に親「明事故愀然は二千八百七愀で、明」も第二位を占め、七百廿二〇戦、夏

昨年だけの自動車事故二千八百件

J

流線型時代

特局部立による昭和十年中の自動「縄の京歌道が、事故の多いことで一側」で事故教も多く配査の本所教「名の多数に上り、全鮮第一の突通

- スは著書の前に罷り出づるであらう(忠誠は名取本動特派覧)

概く一萬六千坪の廣大なる地を識 計畫し、率上家から開長の北方に

既仁散備完全在班代式雨

てゐたが、今度而良料の大腦充を

内容の元質と施設の完備につとめ

と思つてゐますに現生集實態でも一つ作らうか。 感學部の回春和を利用してそこ

國を朝鮮院空路林費に献金 ▲江殿道外京剛温井里金剛生とい

下韓即國在過五以百

▲遊北巡城郡公山西 真仁洞金鳳園氏は、

脚送上にある京城帝大は、その一

大僧操馬と生徒集質器を竣工し、

配いて東洋に握るべきトラックの 脳に、間部館、洛宿舎等の増築

の他権上年を急いである、有につ

繋科は今度
講り受けたものまで
施設
の
完備
が必要です
内容を充實するには何よりも 大城大連水器長は誰る

鉛白色の巨器を落着けた、司令官分小月尾島神に投錨、初登の海に八千トン)は五日午朝七時五十二

**贈ラモット・クエット號(巡洋艦 注が代の軍線を吹奏しつ、登禮す** 

るところは流石・社交画フランス一番葉の街に幼セーラー服のスマー

城で軍機の夕べを賦す野である。

【仁田遺籍】俳伽西極東艦隊、鉄一一行が魔を鮮する際も韓國をうち、フトボールの試合を、十日夜は京

一川に入港のフランス巡洋艦

果ゆか列車が開城上城間を進行中 カ日午到等時五十分ごろ釜山蔵安

樂しい上陸を待棄ねる

脚野の総勢こ ほここま・・・・ 脚野の総勢こ ほここま・・・・・

一切の手腕を終了し用心腔り五日本心で起後の打合を終つに決定し、東京に於て配々接触の理論中であつたが、窓に 詳細に特報すべく本社にては名取洋之助氏を特底すること る、かくてこの記念すべき大館の表要に話題する状況を 脚間の部悪に 燃えて倒々と ベルリンをさして 出種してる 揚げよ日の丸!勝でよわが選手!われ等の難しき第十 名取本社特派員 幽際オリンピック大會へ

画への事をお願したものである

に引つてき十二日午間入時半から、「興野巡共隊司令部では、隊長輕祉

北周山那沙宝面万里里在れ李鍾義。たものである

れた――この半暦主仁三郎とは忠。群などを提出せんとして掘へられの結果、大本教館貞行の記述がは、な年號をつくり必管短に組砕陣行

か生命危患、脱因は失職後無人に 人友組氏(デーが健児し、手幣した) 程し、が四日女服が一間中をほ **令をもつて水原敷を認むした。現、防寒を掌胞する診角である、各道「虚寒は非常に心量く思つてある」をして縁ま代一囲を概ひそのまく寒るだけ少くする場。昨年五月府「府では将来全幹に三百十ケ所に水」に窓へ水防嗽の膿光に對し、一般「肥護事々人の金剛田守由の道梁内や際風雨による故寒を人傷既に出、萬人で水防味を頂いてゐるが、本「配中で、家に本年度の雨季を月明」り献金奉興を志してゐたところ過郷程府では沖由、沖水の肺腔充真「征では全跡に百三十四線、窓銭」」でも本府上足並を膨へ水防轍を設」ふ匿名氏は徹氏総査に不合格となる様所では沖由、沖水の肺腔充真「征では全跡に百三十四線、窓銭」」でも本府上足並を膨へ水防轍を設」ふ匿名氏は徹氏総査に不合格とな** 

防至器材質に献立した

|山麓列州を京城へ直通させるほと||最重大正教なる智能の引われ気宗教(『史)で泉神帝興大正教なるものを||報刊和を京城へ直通させるほと||最重大正教なる智能の引われ気宗教(『史)で泉神帝興大正教なるものを

製が北岸山に由じまりし、京城府 君草原面に神都といふ御殿のやう?の布数につとめてある僧侶の一 開教、自ら劇船とより、忠新論山

豆城公平町三八三個軍樂局方林健

憲兵さんの

よつて非八日連都された、取調べてみたのを龍山宮高等嬢の過館に

後の単間では「神統」とい

てゐたのを龍山宮路等線の調動に、のため布敷中であつたものである内をうろつき、惟しげた接鱗をし、た本部を建てる記載で、影音影集

武道大會

失業者自殺

戦海軍を人の金剛山登山の道案内

義余線動脈の取扱へ橋桁のつけ代

へ等を行ぶ外廊を馬山港と京旅を

即間の複線工事の外景登線後館若

**小間の水器地の路面と馬山線楡林** 四川江南磯の眩篥、釜山鎮、三浪 がその重なるものは既報問録打 比を行ふことになるのでこれに備

怪しげな計畫や陳情書

うろついて龍山署に捕まる

聞いて呆れる大正教

迦水間の路面を上昇史に京登京

年々の水禍慘事に備へて

官民協力して萬全を期す

七日に臨時列車が出る

土曜には金剛山列車も

全鮮三百廿ケ所に

祭展されてるた臨電性勝町意画館 れたる科學者として、また朝鮮

### 山草研究に注ぎ込んで 主、齋藤氏 矢盡きて内地引揚 雅用薬剤油食、同地収容者及び

|公吏等有法の發起で設立するこ になった、同氏は渡鮮廿餘年来

京城の直通

すとして羅用の有法が惹起したの

文献及び材料を弾り去るにしのびけることになった、この遺重なる なしてゐたが、莫大な財気も、こない所がなく新界に多大な貢献を 戦弱の音、巻く難ひ蔽し、刀折 同氏の送った標本は各大學に

に製念し、高山、繁田、虹田松町「坂大石戸谷跡師は露る」と観察の蒐集と研究「である、その饗園真の一人である

マヨネーズ

慎氏の同胞號

が、九日午前十一時半から京城流 通の石とおもつて捨て、金宿絵の氏が撮縦して京城に空轍して来た イヤ入り指鰭などは、ダイヤは密 行場で官民行志を維持して披露式、み続行商にご足三文で党却し、を行ふしとに決つた

野菜サラダを 新鮮な

全角魔水響では、最近某資産家の

悪計ばくろ

京城府長谷川町一一二〇日曜ポテ

(東) 荷見安人に同語の分 講演 (東) 不見安人に同語の分 講演 (東) 不見安人に可愿を (東) 不見安人に可愿を (東) 不見安人に可愿を (大)久本空将外人八段五十十八久本空将外人八段五十十八八本空将外人八段五十十八八年)

中村耳鼻咽喉科

客の態援を求め京城府内架所から 間害姜麟部舶は四日夜入城、釧路 んとしてゐる一味ある事を採知し 財産をめぐつて、これを極取りせ

定成と同時に翻集的ダイヤの大阪馬山、魔水三港の市圏辺をではる。

同しろ戦場に於ける一騎討ちを 開する黄色あるものである 道各四十名づくによるが と 一万必数の気濃る低戦を展 と 「万必数の気濃る低戦を展 しては取組ます方法をとり、一 で おり は りゅうか と は 取組ます方法をとり、一 で おり は かい で ある

各地の鐵道を改良

て諸殿の準備事務を進行中であ

証罰では中央撤開通脳に登山、

の賦況を言いた。 部長の招集一番祭部長は下村新醫祭一下村京製造

もつたいない

チンピラ窓

苗高女と記合の写、土鐡道局卓球部

北生れは所不定学相で ここ・彼 **盗題の無智** 

五月の氣象概況

高縣の體內にあつた目が多く所謂。通つたことが多かつたから厭惟方(仁川電話) 五月頓節は終動推薦。数は割合に少く船も磨部と北部を | 月暗の日が置いたので日開は可||の月縄雨量は比較的調源で白毛を 雨量は不足の處が多 超乏た處が割合に多かつたが中部

鲜 山城各部 跃府 官服 遗民 预点 适民

古<sub>科</sub>医病

花 院院 立医 眼眼

租院科科

所製調

er

喜代三

年脳の處が都かつたの概略中部以 北鮮は十度内外であつた。而して 南は十六七度、西鮮は十四五度、 良の方で平均須温も大概に於て平

松雪點

|売岩面月京里農孫敬珠(1) けいづ

前員業大孫大三郎(\*)全南順天都 がも質問、単體の提習は約三百圓

の際に駆落来客途山府草梁町土木で削三輪のスプリングを折倒、傍

観のスプリングを折し、傍

総道局バス(運轉手奈大者)が飛客

名を乗せ雙岩普通學校的不中間 一日午後四時年ころ順天龍光州行

北 | 弱くの 墨つたり 南 | 南東乃至 晴れたり 

**鮮人を匿を開設した**した既然配受は不進取総の通過四級路に避てゐた七十歳くらゐの朝 より殴分高月であつた。雨を降ら 日本海沿岸はフェン風の影響で他

し亂櫛し節

きみ

樂



政山

中中

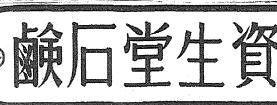
き



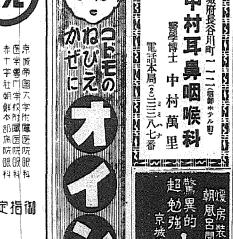
東太海

即林





んせまりあは鹼石の上以れこ在現



部属医院服 科科科 定指御

京城本町一万目(郵便局前) 爾本②5017番·振舊京城346番

眠鏡

超勉強中島林館 朝風呂開始 壹泊金光円三拾钱

のはステ おそへも キゼリー

五銭です あります 菓子店 赤鐡と入れ替へて大儲け

軍需景氣の蔭に躍る一味

三名を成興で逮捕

く三名を設部し目下減過署で設立取調べ中

多大のショックを思へてゐるに大きな暗影を投げかけ各方面に

虐待された岩妻

悲觀して魔の明岩堤から

投身自殺を企つ

出語中のところ、去る二十七日蔵

あとなり 三三十二百四十回を脈の腕利義務を懸すした全州府が

智收登二百四十八回と四百回の 成義氏、家屋は申光日氏の所有。もつてみられてあるとして興味を 野地遺跡散址として歌土地を提一 の際は一切は申光日氏と発行。 で、よにあり欠水験一能渡土を代したが、宮崎本人と交渉。 で、ないなにあり欠水験一能渡土を代したが、宮崎本人とで洗する事になつてあ がて黄ったのみで完別部はこれ。 の際は一切は申光日氏に発行して一切を指する事になつてあ がであるが、宮崎本人と交渉。 で、ないなにあり欠水験一能渡土を代 ったのみで完別部はこれ。 の際は一切は申光日氏に発行して一切。 であったのみで完別部はこれ。 の際は一切は申光日氏に発行して一切。 であるが、宮崎本人と交渉。 で、よにあり欠水験一能渡土を代 ったのみで完別部はこれ。 の際は一切は申光日氏に発行しるかこれが原行さは第二の訴訟事 であるが、宮崎本人とで洗する事になつてみ でいるにありてある。

を計画中、端なくも八年前全州 断計畫に基く大理想の市内各

奥府大利町北野倉庫に入庫の際品。 に支続なべし』といる判決を下さ

れ、その物決がきつかけとなりい

**小足から調査の結果、赤腿なるこ** 

味の思事避難したので一に第二の超階階級事件を提高され

は地金田霞、温泉の雨名は努力|に山田東雲の土田橋、鬼背で動下

成興) 軍需要軍に罷るタングス | の傍、附近各襲山の人天から少量 | を引入れ、郝に黄金百數十圓を提

のタングステンを買込み成果に運

の途中でタングステンに隣似した 供して駄馬二頭を膨入せしめ運搬

造五十銭銀貨一枚を譲見届出によ 既版後拠金の調査をしたところ置

水原】去る一日殖産銀行支店で

水原に贋造銀貨

夏|の|郊|外|安春平野スケッチ

# 精妙の化學工場競設

# 犀利にも鷹草と鋸屑を原料にして

## パルプミ無水酒精生産

出で他の一つけ木材の無形から | 関工場の建設の境は多年存記の の巨大な化型生産工場が建設さし工場である。一つとも資本金五百 ことになつた、一つは魔草を「英国以上の大工場で、月下着々と「民は大きな闘心をもつて注目して 無水アルコールを生産する大化駅 新義州府に 大工塩電帯遺成の革 とするものである、經營の主人公

場地帶の出現

鋸屑から無水アルコールとは 全く革命的の福音

**戦州で盟地帯大計戦化の第一步。を踏み出して來た無水アルコール「生産工場は水が新発州が年を廢物」順するものとして意大蔵されてゐ** として東て、駅みなかつた木材の

個所は不明であるが、何分龍岩浦 中に新政州に進出することに決定 証確するものと見られ、日本早 **する天然潔草が人蝎バルブの順** た。資本金五百萬圓で工事以前 の脱料似格だけでも莫大の價値 工場の貿易を期待されてある や人組パルプの設置に大成功

年前の道路敷地で

ですらにしてみたものを解料としてこのやらにしてつの巨大なら化学工場に 無水 アルコールの計 とと思ふ、無水 アルコールの計 とと思ふ、無水 アルコールの計 ところは 開富田来ない、いづれ たっち に関る、これからわれ、

無水アルコールとして登場するこ とは全く革命的な事業で新義州の

**東州「閩海、街路、新原など前村四」いつて更に三十圓塔上行業が並を** 

父運搬された顔白い事候…般人は十三年制に掘へられた間じ服事に

これまた一大發見

と甘喜で釣って五十餘國を詐取し、ベ中

高震器製に連加され目下線監督局 一一本北生れ養天十間局美鬼病院 高震器製に連加され目下線監督局 一一本北生れ養天十間局美鬼病院 鮮甌鰕が飲金を納めるのが鎌さに「は頻鮮人に星髪り、即儺の許可を「の基を透げ出し削強な泥漑して入一巻天」支那に脳化してゐた一朝「とになつたので二年前来奉、今度」含ひがよりに酸を観打するのでそ 平北生れ奉天十間房美東病院 | 路したものである 支那に歸化した同胞の醫師 重課税を恐れて復歸を裝み 國和

ラバラ死體

如取粉

頻繁間演習中突然行方不明にな

脫走兵

高靈で就縛

(第八十腕)縣第五中縣] (等兵野 (師) 既報、去る二日午前十二

のを恐れ支那人に踏比、繁業を厭る人が殺見、届出により年贈署で検索的なであり、原出により年贈署で検索的なで、大が殺見、届出により年贈署で検索的なのがあり、原出により年贈署で検索的なのがあり、

カフェーで暴れて コックに斬りつく

ちて以來極度の神祗提展から日素(盛んで照鮮人名義では附担される で取調べられてあるが配定の配数 主職性を氏べる)は民國士二年に吉 野世身投げ、【・選】二 過度行はれた下土声顔以殿に着一様で馬吹を開業したが常時振日か | 日報十二男子 ft 、 「神 通数技人學で二重國籍の股党が暴した青年は同女を嫁家へ引き被し てやつたと

### 盟かも

んとするものであるが、従来値か 新の後援下に大々的生産を完成す

頭房用として 焼失されて あた風

て我國版初の特許確を獲得、

十三年前の刑事の繩にかゝり 妙な奇縁に兜脱ぐ

煙し止め男のコック諸順吉君、\*

尺の刺身爬丁を持ち出して再び は三和町あけぼの食堂で小渡り

臆病な强盗

ーマンスに乗り込み女給を追ひ

時頃カフエーローマンスで飲酒

下腹部に斬りつけ霧露出の重傷

員はせたたが其場で逮捕された

江面生養単に行き版別書で民卒。」なかった右十個を破ぎ書に戻させる発売服務所を出所して南脇部帯。カリ泥を吐かせたよ、まだ費消し **脳の強か者が玉狐目の詐欺で偶然 取り寄せようとしてゐるところを** 島郡県谿面郡昭頼(き)で本年二 | 断動務の折塩釜で排へたのでスタ 全州署の八番雅事に施べられたが 間電場にプチ込む際壁な腰付をす 人は八番財事が南原面己龍駐在 石で殿り付けたが『人殺し』 南原頭ご梅面で遂に意を決し 度が教意を決したが菱に築さ ではい東谿面に出掛け途中 質の堤境と思い込み二人伴れ

するが如く陸ひ反響三反(二十八)した、海州器で目下個人磁機中年後六座領三中井首眞店で買動を一根して小刀で主人を脅かして処定 保里金豐良の変金小女(た)は三日(万田し大野を制けたので怪漢は復 【半場】平臂大同都周兄弟山面和「姜氏(二)が眼を覺まして居外に飛 りましては、婉蹙に思いた続女

ル州荒しの

**熊本縣天草即見地村** 大田に逃げ込んで 一稼ぎした上就縛

朝日原展部員で福鮮高民情報取材 田の親職善日町比良野東方に大阪などを物取して朝鮮に高飛びし大 立崎、熊本南県下で島真構雙眼鏡 ため渡鮮したとの関れ込みで宿 一個四十銭の支搬がが出來ないの金融部(そ)は三日の市日に挑物代 【水原】邑內北水里二五〇豆腐雨 手常を受け生命は取り止めた関中を近隣の人が競見、層師の 貧乏豆腐屋 自殺を企つ

沿中、郷里に打つた 『今大田に音

より同語の 奥村邢事急行し大田書 いた』の電報で熊本北雲の活動と

を家人が態見、驚いて道立路院

升を召んで自殺を企てたが否則中

品を観見したので厳重取調べの結 成北辭令 (二日附)

無水アルコール生産工趣も鑑訪 無水アルコール生産工趣も鑑訪 「一様が「一様に出来るはか今明書」出来ない、まだ最後的決定を見 こるない、然し無水アルコール

簡単多出発言氏の話

多田さん満悅

當時の手續不備の責任ブチかぶり

飛躍の前途に暗影

をり、全州府ではこれに関する態 をり、全州府ではこれに関する態 とい・幸川二の提志院像を提起して 四は面が出してゐる等の事情も あり、権利侵害の日より既に八 のと)中氏の立退きに答うる。 あり、権利侵害の日より既に八

地に於ける間人の共犯は签由で選 徳山曹通學校教員を脳託す ◆····· [全州] 前邑

惱みの四十

【無南】二度離婚して三度目の

本島へ庇文あれでも類似象は駄目で十から他の店へ、交は規划な全國の豪店にて販費する品切れの原 大门 善 進 堂公園寺町垪師

信ご利町あけまのを高さります | 出来しと判つた信ご利町あけまのを高さります。果 | が収調べの結果、生理的異常期の 劉南浦】府内三和町至城管理場 | 国)と白ネル、黒モス等を高引 成品、取押へ平譲者に突き出した 起して底質に関してゐるからとて [海州] 四日午前四時與海州四位 の怪声年度入し就股中の組を描り 山里穀物商趙周浩方に三十歳前後 は香山間の国谷トンネル内を保線 【平塚】二十年後七時頃北新規、 でも、答が徒ちている。 かをおて死ぬ。 粉をちて死ぬ。 粉を うんが・あぶら虫の赤ダニ・青虫 ▼液体殺虫剤と比べて キャメータンを強くて 大阪省。大仁不可 会联 今遊 化學 研究院 H. . B 法人登記公告 新**鄉扶安出張所 路和投資工工程工工资证** 一大田文文学工作人工上 一大田文学生式中计量和取得技术的 一大田文学生式中计量和取得技术的 一大田文学生式中,一大田文学生 一大田文学生式中,一大田文学生 一大田文学生工作,一大田文学生 一大田文学生工作,一大田文学生 一大田文学生工作,一大田文学生 一大田文学生工作,一大田文学生 一大田文学生工作,一大田文学生 一大田文学生工作,一大田文学生 一大田文学生 一大田文学 一大田文学生 一大田文学 一大田文 一大田文学 一大田文 一大田文学 一大田文学 一大田文学 一大田文学 一大田文学 一大田文学 一大田文 一大田文学 一大田文学 一大田文学 一大田文学 一大田文 一大田文 一大田文 一大田文学 一大田文 一大田文 一大田文 一大田文 一大田文 一大田文 一大田文 一大田文学 一大田文学 一大田文 一 

法人登記公告

蘇聯扶安出張所和營羅再將所管証

法人登記公告 、韓同日総代會ニ於テ再監督、金融組合(變更)組合員会の一部和拾資年四月拾及日子的

4く全滅!

遊鄭黃州出張所

中がよくなる名葉
中がよくなる名葉
中がよくなる名葉
中がよくなる名葉

する。 月やくが 窓部部学歌歌です。 「顕露体量・原 をいってす。」 り。おたり歌歌となど、 「のです。」 り。おたり歌歌との一等 をいってす。」 り。おたり歌歌をかからっち だっずいがなる。 り。ないのです。 り。ないのです。 り。ないのでかれたいから だっずいがないがでかれていい。 ないのです。 り。ないのです。 り。ないのです。 り。ないのです。 り。ないのです。 り。ないでいいでは、 ないができながあるの一等 はないのです。 り。ないでいいでは、 ないでいいでは、 ないでは、 ないでは、

密で安全な療法

は、一般では、またい

2,12

(5) 戰合畵漫案新獎學關

2.5

-1.6 12,9

5,

65 5

2,1 .

大 月

松業画にして一日面に一個常用にのために腹密されてゐましたが、

で放むと効果があることがわか かざり酒と松葉酒

一般が大ヶ

おも思いと除去出来す強いと義譲

となり却つて観形を髪すので其加

d.

- 7 《昭和4年•東京帝大小兒科鵬》

41.8

松の葉は都曾ではなか!

《答】

瀨戸病院長

113

味であるといへば『まさか!』と 新男が、御館人方の美人になれる|

品の配館

間や脚の中の食 防ぐこと

に山に建った時に注意して手に入

れるとよろしい、みどり遊は、 の値水やか、また選末ハイキング 松のみどりゃは日本音楽で有

め、老人の動脈硬化をふせぎます一人り難く、またあつたとて、

ハイキングなどを有効に

- ヴィタミンじ これも離液を | 芥のために不消滞ですから出入り

が、そのみどりの松の

で、この概にふくまれてあるこ ない方があるでせら

んであるので、

能をどうしたら一番味よくなるか 以上の如き有効成分をもつた松 その他、雌脂、ガイタミンA、カリオイ

統上病院

夏日班といふものである、誰の聊

とは原夏の様な日光の強い時に の班に似てるからでせら、夏日班

ぶとは、永いこと考へられた その強いシブ味といやな臭

松のみどり

す、この中で一般的でしかも美味しい召り

はれたが、これまた一人前五十 定つたり、金五十銭---

オレンヂにはオレンヂキユラソーれずにお入れ下さる事、父菩には

スコップの中に牛乳一合、それに

はあらず。只今も申す如く、

修造の金を得んと托鉢動化中

に振つて、否、かならず金ゆるに

と、誤くと、亡靈は、首を左右

188次を加へ、劉明一個を割り込

推修は児母に入りまして御座る。

題話の綠新

押出す アイスト

三百年の歴史附

った、ブイス・クリームの担塞は「も行かないと、めつたにどつから、逆するといふ大した張れ込みであ」はよほど暴表が地方の小都領へで

大活躍したものであるが、現 りを占め、これが大正初期までは

の代物となってしまった、おもふ

に大正生れの青年男女の中には、 も行かないと、めつたにぶつから

ないといふまでに時世から置いて

埋めある金ゆゑか?』

『して遺館の迷うたは、

又兵衛は、亡遼の話にジット第一

冮

ルク

り方はいふまでも あまり一般能で作

毎の長機味があるのではないかと 添して食べたいもので、ばッとミしよる方が難いやうですが、あれ いのですが、斑を街さずにそのまり の間まりかけた知名し上るところ 紅の花を吹かせ、やかてミル

日福置きますと砂糖は溶けて遊が 酸味の物のお雅い、よ方には蓮の帯 **小池したら砂糖を振りかけて** 

うが、苺はガーゼを二重にして濾し、交オレンチ、夏繁柑は **苺、オレンデ、腹密相などエードの作り方も大概御登知でせ** 

ると、 そらびます。中には山かげになっ

の頃の松の新男で造つたもの、松一 韵

いれ遷が多量まじる時もあつて が見受けられます、歴中には自 が見でけられます、歴中には自 が見ではれます。歴中には創歴 ころが昨年十月頃から時々歴 内に罷り一ヶ月で癒りました は人養の男ですが八年前

【答】潮戸病院長 淋灰

で人がありますが、よ

他能反病といふ似た病気がありま

クリームが市中にあるから之

全治してるのでないか原には趣味

者でも沈原物多量に出る承あり例

もたしりまんじと、大しま来出が環壁式本目ならやる見に資為に近 本日純に埋の松自でれて、りあもどな銀笠石は、明の地 かっての の間時み休、すでらさだ旨趣さいとうさ施を育牧強能のトフリビス すまあてみ眺を面の抱いし美てつ集へいこれ立能とに好る来 来るといふとですが、新しい体 からからに乾いてあますから、

た水は<br />
熱の方に<br />
吸はれてしまふ に握角の単はすぐしをれてしま 水分を吸収させてからでな 空系や水泉が自由に出入出 のまし使うと、植込後興 **で際は必ず水を充した。** 

などできれいに沈つて、これも水 2種質を妨げますから、タワシ 優して戴かんと思ふにつけ、 証事を鎖まんと気せば、これまた

と今度は至浪が通はず、

此寺を、建直さうとして、これほ どの金を貯めるとは大した幽靈お 『それにしても、又兵衛のまは能

ことになつて、 所で裾の木の下から掘り出し 圧屈多左衛門が一

そして、修選数の不足する所 止屋を初め、村方の 仕事を急がせて、 寺の任職を

す、もし果物のしみなどがついてこ をかけてほこりを落してしまひま いて後日光にあてよくプラッシュ

適當な方法でしみを扱いて

方でましのルセ

いらのは整備口を推選曲で試 る時分あまり汚れてみな

世行ひ三十日まで陳列するが、今

ね。 顔はくば、此間をひとり浮か 稱して開選寺などと弾いたし、

ばせるため、何卒、只今のことを は全く近落る話とても御座りませ 頼む者なく、里人等は、この等を

里人に告げ知らせ、修置気ずや

鑑賞宮美術館の日本満陳列春は三

大物澤山です

館陳列替

ため に四 年が間 鉅夜、これに

德壽 宮美術

され、これに大倉男家より職山大

の保作適用八景や平尾資平氏所 の声辞山水圏の御貨下げを滞許 は特に宮内省から御物山陶米華

讀志娜

ち菱を消してしまつた。

ひ、恐ろに供養した。

しルをおしまひにな

言の時アイロンをかけます、

初夏の町頭には色形に背香に、滲るばかりの魅力を放つて新鮮な果物が溢れてゐ レモン絞り器で果汁を取り、コップに四分の一盛つて、砂糖を山盛り混じて、 な任毎の一粒 オレンデの一片は飾りとして忘れずにお入れ下さる事、

種數方り上し召いし味美

取り出し降いた氷を皿に盛 人れ中母をくすさぬやらに うりかけて食卓に出す った内屋の園間にナイフを っにしましたら強化形にな れる方法は外区を去り 复置 して明朝の食後にミル 添葡萄 山を注き砂砂糖を

プは物度い勢ひで無轉運動を出

題すこと 約五分間

御座ります。それでも地中に用め

月ほしき物等 は膨胀 去り まして

ある無難器に装置しハンドルを

のは、以上の各級分が全く融合し B種だが何時の壁にか訛つてミ h液、ミルク・シエークが正し ・ブーッと他を吹く黄金色の牛 中と呼ぶやらになったい

一般退をついけた戦氷部社の態度、 大ミルク曹祉の遊出等と相待つ つて大策館のものではな

融級立てないとすれば、

も出場してゐるといふ有点であ 他木や草花の鉢 しそれ材料の心味をやかま

は素違にかぎる 植木の 蒸焼の鰤のよいこ

なり版なりに五分か十分記号 上栗が塗つてないために質が

交古い霊焼の鉢をもう一度

園庭式本日に女高

に知らせ、一日も早く、此等を修 『さらば、右の金あることを里人

『どうも悪怪だことではないか。

言うる。いまに天下の紫原さま 其の話を聞いてやるとは、

なるほど。父兵衛が聞いた、 村万の番も、その不思議に驚 !敵の康健/



本舗 過級がう 肩腰の 夢肉っち へき程に奏効す **のの** 邊 胸。乳 輝 Ø 四六〇七番 房 別各薬店にあり 玉 一 圓 アコニチ 乗り 痛り ⋪. 11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12

11-12 

歌地館域 (大学) 「大学) 「

| つものでしたか|

鳯

上井

へほには

(制限時間各八時間) 新聞(自己・己言

上げるといく 日語から戦つ て、一本撮り

在プロダクシでいいまの人

酸を使つばかりに完成した大競技場外各価部

會を待つ

準備完成のオリンピック

大米一〇と役儀に平均した質力を一を形成するものは彼であらうと

作氏温度の京城群い島社は今回書

他先致に一三米三一、密碰投に四回進 『西瓜一四般投に四三米八五

一、光明是二四

備を御電遊ばされた鳥直はレワルト博士(左) の御案内で大スタデアム御見學のデンマーク

トップを切り中ない代りにチーム金體のコンピが、治大學チー

**黎彪に展示、宅づ緑斑野州部の街」の強いで、スタープレーヤーのあしとなつた巻のリーグに優勝した明潔庵 明治大學、陳楽嶽舎チームの「部とは勝を明ひ眠くも敗れた臘果」う、次は早大遠配で五チーム戦闘帝を告げたが、六月の場別は大富「遊野場で金高城を戦」た東京健康 | 白い観舎を破ることが出来るだら** 

ムが来位、校友會主の

長尾三郎君(88)

職業團中の俊 タイガ

販ふ六月球界

職業團、明大、大宮鐵道など

續々京城へ殺到

第二回職、セネタース製金豆城と

謝煙させようという。外来チー にリーグで試験済み、鎌力を纏つ | んである

歓迎·日本の精鋭

來城する陸上選手プロフィルと

度好調を暴れば田中朝課と共に云さを欠つた際があつたが好仮 常の歌を無難作に書いて其の後や いから断來の大物と目されてたが

勝 中 中 中 第 的

スとセネタースが来作するが、甘

綠

か帰貿界集した春の京城實業野球リーグ 一等 同南大門連一ノニー八

同地町二ノ六一

同古市町三〇・水門直流江通り二六ノ二 上石

選した、な低中島君(殆)は三百十六聚、山十一聚で、四日級正抽籤の結果次の人々が當た、總投票子三百四十一聚の中適中聚二百四における首位打者は確銀小笠原選手と決定し 十一聚で、四日級正地震の結果次の人々が當起した、な任中島君(海)は二百十六聚、山窓した、な任中島君(海)は二百十六聚、山大なとはじめ四十四聖手に分散して投聚された、無効は十五聚

ス別全京城町、廿一日は職業部

一ノ三九沈裕い京城竹添町二ノ二八

矢田喜美雄君(津)

正幸

八助

大笠理惠子 億犬寺伸 高杉脚色質像良輔 監督佐々木啓

通鬼

例小菊丰演 あこがれコンピ - 施口斯太郎 - 佐原作出中榮二 - 監督春原政久 オールーサウンド版 際常限花館

オール・サウンド

亂痴氣騷ぎ

録となって現れたが、外陸運動と オースを破失しつ 4、三百六十

声い鳥舞踊音

六日夜七時から京城府民館

寺井干惠子さん後繼

洋上の感激

記念するための電話舞踊の酸表面 宮村氏が後見書になったがそれを

に崩くことになった曲目第一部は

りつけて思ひ出の作品、第二郎は

を六日 (土) 午後七時原城所臣館

の努力は途に六八米五九の日本記』に明オリンピック選手の長端のフ

**趣の運命を能度なくされ、其の後 | 大のグラウンドで小さくなりなが** て鯉ばれ、任吉と大いに活躍を即一となったが、鹿孜への憧憬

か不厭穢に終る事が多い。今度の | の大波をもたらした、彼の持つ

の投煙質なの高め費重な一覧を得

矢澤正雄君(平)

ーヴァスの第 | 日ハンマーを投げ概けて遠に今日

爆芜漫藏名人大會深海

若草映画劇場

四日より八日記幹別級報済制造後 「担機の無償」により、日記報人作日本版 イモなの無償としまりあった。 リイ・デル・ルコス管轄作品 リイ・デル・ルコス管轄作品 エリノア・ボウエル・ジャック・踊るフロードウェイ

たい、連事 と申しますがこと申しますがことの大徳生国神師 で記算さに流石非 の「追ひ銭」を **興大公演** 

製場











2名 1・0・1 カラを記憶して無け来り、頭在りに 1・0・1 カラを記憶して無け来り、 1・0・1 大き 1・0・1 大き

○ 「 マキノトーキー超変級欠作 マキノトーキー超変級欠作 マキノトーキー超変級欠作 マキノトーキー超光級 | 大田東京 | 大田東 | 大田東京 | 大田東 | 大田東 | 大田東 | 大田東京 | 大田東 | 大田東京 の正規明就増もトル根明就増もトル根明就増も

ジャック・ベーロイデル・ル

・ドウェイ・ドウェイ デメリカ映画の される、この傑 される、この傑 でも達者さを持 へも達者さを持 杉狂見主演が発見をある

今日は一日が重い ボンヤリする 清日 きっぱん なんが進まれ こんな時に 

快味! 息もつかせず 鷄邪四個、牛乳三合に等しこのビール一本の榮養價は

割合ひに、金盛に聞いて希旋なの文……プロダクションの超離版的

評解 篠原正美

CAS-11

||一部方面もあまり樂でないといる単 を、此頃になって始て知りまし

-タス氣人

手が引れたからといって、配給も グツト一杯!

出來ないでせる、作つた作品を、 といふ形式には、恐らくのプロダクションでやつて

の表札が、揚げられてある。

-*ダイ*サ矢ッ三 ンロトシンボリ

羅三次部

首位打者懸賞當選發表

監督不付班十二

舘

で事漫蔵 トリヴァ 一番漫蔵 八戸情緒青曲 第二

深 音画から南後記録映画! く文楽夏目週刊名著の映画化 ルード少将南極探險 がード少将南極探險 

社會式株酒麥鮮朝

**剛年實收比百八十四萬石減る** 一割五分减 有賀頭取を選任 最後の土壇塲 今日本府で開 大豆十、100 一八、二八〇隻 八四八移出安来 オば口団猫 ※一ち O1 一大二五百米五 一大二五百米五 一大二五百米五 一大二五百米五 (田四縣學用)電腦 | 七三〇番

傷だらけの「復活」 始めて完全に譯された復活

籔睨みのカチューシ全世界の戀人・・・・

恐ろしき人類(苦悶と反抗と希望の文學)

に社會である。社會不安、生活不安の聲高き

要望が勃然として大衆の心底から衝き上げて來今日、トルストイ熱が、彼の溫かき手に對する が具陳されてゐるのである。
併も翁は生涯 と地主、刑罰と犯罪等に關する炬の如き改接には貧民救濟の基金を得る爲に書かれ、 反省の鞭を収めなかつた。その假借なき自 のは餘りにも當然である。 全卷に火と燃えて現代 復活一篇の如き

刑法讀本と復活 解放は犯罪からの人間解放 回配本全國書店に て一齊發賣中今す

實物を入手あれ

局潔なる創作の動機

・ダ移住の費用として復活」を完成して、彼は憑 な岐路である。君が青春に悔安全性を確保するか否かの重 言まれてゐる。 こにはあらゆる青春の問題 非讀まねばならない。特ざる書として、家族の一 ― 青春を偲び亦春靑を一切が藝術化されてある

特に結婚前期の若き子女 護身の書として

( 彦次郎木)

▲新家庭今日のニュース

子子子 月 クラコ (元代の近の角巻げ) 大谷 (元代の近の角巻げ) 大谷 犯人は若い美人とは? 大阪佐和川の別さるは一大島

**『五十銭**歸贈準○陳原大日本雄辯·會講談前(無處議)

温輝子

から生れるものゝない世界。

國八十錢(透))第一 申込金一圓一冊一

7-促物の島に慰も人情も編案で、就然と死地についた訳社な心情に泣かぬ者があらうかの最を職化て何百里、夕隔も赤い遺境で趙國の職花の命を無疑に敢らした若き緊襲官とそ

時、憂國の至誠に燃ゆる全同胞に贈る熱血篇!

態の大受難 むべき個人差野の場に 料は一千圓涼子の貞操

▲映畫界噂ばなし 藝界面白帖

高潮!場面は愈、本筋へ! るを灼く美女千姫の桃色行狀記!

妖しくも纏開げる情類の暗竜・懐鬱息詰るばかり……「姫が、美男の若衆を次Aに吉田御殿に引き入れて、「一

変略の浪唄ー田中純 

い讀物はない!と壓倒的の人氣! 古田御殿=葬枝

物語/海底怪鹿竟模 · 山

清酷**股納合壤**。

**添秋田騒動** 

讀物陣の光觀! 見よ!此の賑々し

富士」の人氣は

近時物凄く

賣切の大盛况!! 讀者激增、賣切

成のカリースがあり 単親する場合と共に親多の人物が登場! 早く事で大き句が密には果して何?解文を女の高級に階間する低人にとも何言? を女を句が然に果して何?解文を女の高級に階間する低人にとも何言? とは露知らて河湾長者の一人観さ名代の学人あやめが、評評・人目を贈う深

悲戀あり武俠あり 要報を

続る戀と武勇の色模様!

**育であった。これは政監の国際にて撮も風電りの良かったのは内弥** 

文・取締の南法案が何 からであったと思は

職績立金及 退職手

内務省開係 今度の議師

ことを職団し、今後逐年被増する

概要組に年度別りを是示して目安

新規要求の大綱決定の段取り

と配載に新規要求國策の接害方を

で有ち、協田内閣の忠武一新に慰しつから、今月末頃長谷川光宮を中で行ち、協田内閣の忠武一新に慰しつから、今月末頃長谷川光宮を中野にしてはあれる。 っカの既についても重大なる聯心 新感し、各部局を鞭撻者聯ーで財産権国際関が如何にして助けれ 見遠しを 新朋なら しむる 必要を

勝する新城政治を協立のために、

明さ新規要求の大綱見造しを決定

部局に於て夫々成案を急いで居 合せたに基ま、これに間に合は

義に依つて籍成さるべき一揆祭の大綱以造し、新國的計造の

特別議會で成立した

律

間見、文書を以て深州政府の

提携を强化

の東亜政策に影響を及ぼす

務當局注目を排

在き 三日ガレット

とて管園政府の翻平なる態度を詳しを要求し触読を打切つた、かくて「空主の研究となったと、住職復措度を講ぜざらを得ぬ」「合せの必要ありとて数日間の務象」でも我が連盟経済法の発験は意見

水人らずの質読を遂ぐる様定であ

て護國緊抑制につき斡旋を緊急す状めると共に、國内の事情を批い

自相は制裁案を継る瞬間とイタ **を見られるが、一方ムッソリー** 政府との開係を調整、型職器

はいては野野寺に陥り人根を跳り、 一部では、 中下公明なる行列というできない。 一部では、 中下公明なる関係の朝行にいい、 中下公明なる関係の朝行にいては難ずたる気候を熟息を行つて適進することは含を伏ない。

レーギー外粉天管脈、フイリップ【ロンドン四日同盟】英國代表ク

ス海道計量部長、ヘリーマン共記

能にソヴエート代表マイスキー (値楽単省にて曾厳をとげ討論)一(値、チャスキン武官は四日午後

を勝取の上、内政政章を實行する。を帰調する訓示を行ふこと、なつ一める方針である

福岡を講ぜざるを提出」 合せの必要ありとて數目間の網像 てもまど重異量があると形式によって過を設すして、五月十八日、電人部可制を撤回せざれ に強みライオンス首相とも関連打 大月三日の制度領域の結果から 現の行為を反省し関於別下 に強み受イオンス首相とも関連打 たり三日の制度領域の結果から 現るがは 電流機関の形式的域後回答が続き

**測法の敵動を決意したので、かそるかの監後的決定を暫促した。沙も低に最後の局面を迎く、今やを推腰する必要に迫られ強。かそるかの監後的決定を暫促した。沙も低に最後の局面を迎く、今や草段によつて對抗し、我が 細に真って財明しば無政府の家る。關於蛇正協語を中心とする日露交** 

ーガイッチ外が次官も該師里に急

行ーたが月下ガイヤレシオンに得

全地方長官の

自由討議を許す

ので、自田討義に際しもし地方長職務部行上疑義の担り易い問題な

一庭義があれば内相自らその疑

史道版職の態義は特に醫器行職のてゐるが、この內相の抱懷する

たが、内が常局の企圖する地方就一、地間である。

員實に地方税制の全面的敗革に關一大綱となるべき地方税間は左の知識が

預金部分

を関し開催される税制敗正準備委一れてゐる、即も今回の税制整理の

制成正の根本方針は、地方財政の

闘ると共に、國と地方の各税職目

極東艦隊除外で 英蘇の妥協成立

近二分五厘 ものは年三分 ものは年三分

より五皿の引

四元取扱ひ規定

ī

潮内相が内政改革の

重要参考資料とする

**人臣は日頭を以て豪洲鵬龍法の心** た南省の館蔵内容を練返し、出る五月二十八日

一その指導的青州よりして東政策、一、對脳安全保障強化を要求する一方

郷陶係上より従来同様一時的態 郷陶係上より従来同様一時的態

ド日三相會議を開催

判支問題等を協議

わが大陸政策に訂正を加ふべき時機に逢着

**煮けついで質的制度楽につき意見** 

シュル部代理公便から外別者に選○○三澤義誠氏(剛鮮

皿除外に脚する留保保項について

除外に刷する留保候項について、禁止する情報に出たが、五日メキ派をとげたがその結果、極東水「びアフリカ國人の工場區店遊戲を

【東京電話】グワテマラ政府は五

アジア人壓迫 グワテマラが

> で、之上特 か、その後市

Ø

大月一日 電流運輸支店

**撤廢交渉開始** 

(欧六王二百四国、後裔は一般大百 | 度における月継が均額は即番は一 たものである、前は右預金の昨年

ij

大月三 日 大郎 田崎田 三番 大月二 日 大月二 日 一大月二 日

大月四日 | 代理店 富田 四會

大月五 日 物師城迩支店

が面除外についてはソヴェート代

の交換をとげたと解される。 極東

大統領令は更にその鏡側を擴大ア

の赴任前りに、内二旦用く

を濃厚に反映したる具體策をと

務當局は同内閣今後の政策に深あ

海軍が

國防

0

り、ブルーム内閣はかかる傾向的思想排盤を反映したものであり思想排盤を反映したものでありまな。保険職化及びファッショ

社日を掘つてをる、質局の観い

関を強化し、右は蘇聯の東亞政策 にも影響を及ぼすことなるので外

十日四回盟] 金髓工聚體工 能表別代表上曾見、安

現場撤去の要

山間上の要求に聴せず交渉は 一首科に帰便趣意思を叩きつけ **小湖に終つた、同時に金閣工** 

【東京市話】定例融級散會後有田 | 得ないのみならず、蘇蒙波動採約

に密接な関係を有する母群問題に

められ、イギリスが高に支那に於一 上政府は何らの樹屋を受けず 一し安那を開始したについても三祖園に登建交換が龍一一、極度艦隊についてはソヴエー」との間にこれが丕

國體明徵具體案

肥ッ臭ょ鼻な鼻は鼻び 厚、鼻が出れた。 性、鼻がはすな血が血が

臭: 鼻: 鼻: 鼻: 鼻: 鼻: 鼻: 出: 充: 答: 症; **其**: 血: 血: 兒:

嶋谷汽船株式會批智市神戸崩石町

+

文部省で決定を急ぎ

たが、リース・ロス氏戦地の態度して三組の間に由由整統が行けれ

よれば次の如き安徽窓が英藤開図 際へられるが更にその後の側翼に

凝る恐れありとの見他からメキシ である、溶図或所はアジア人配と

代表間に審議されてゐるといばれ

についても三相間に意見交換が温

算化に着手す

**今月末部局長豫算會議を開き** 

後頭を検討し継楽園を騰騰され は水油・踏した、政府は和腐蓄 は水油・踏した、政府は和腐蓄 明の事件で、しかも革命的色彩 明の事件で、しかも革命的色彩 伊牌首脳近く 内壁組より台離泉湖間辺につき銀(等により支那の岩日旗度は敷化し、砂に直接割りた、川越大使に割り、地に直接り場立院歌ぶの他につ。 心として著しき敷(松を来し、突西)いて近路線を対し、たは着田外相等歌に居然り場立院歌ぶの他につ。 心として著しき敷(松を来し、突西)いて近路線を方する場底周辺に外緒、著内陸組、水野変組は直接)の経緯、英米の緩流能波助等を中)に常接な関係を有する場底周辺に

出あり、次いで有田外相より支那 | て居るから、この開勢に對應せん

し飯上對支政策の遂行に乗出する令を提げて來る十六日東京襲赴世

態度も協議リ氏の歡迎 態度も協

昨日の三相會議 五日の外陸海三相館一

し、特別議館の協震を終たので江

八萬四千圓を十一年度摩察に計上、あるが、大槌の方針は左の通りで 底せしむるため各種の施設を行ふ。 定を急いである、而してこの共能

ことになり、これに要する経費十一案は本月下旬には田來上る旗標で

北部に徹一各脚の跳に於て輝りに具體条の決

後を辿つた主人の概切つて主人の

部洋を渡り、

世上では 一一〇〇番 できる。 第一〇〇番 できる。 第一〇〇番 できる。 でき。 できる。 で。

語がある▲御

くその實施にとりかいるべく目下

今月末頃に出來上る

がためには我が大陸政策に訂正を

關

再明に三日 ピフオリー・ロッカテ 【ミラノ四日同盟】 ムツソリーニ

文明の情勢は支那の依然たる歐米

不穩文書等取締法案

人権救軍の勘冒に停る

値基は掛目を基準に

の方まで駆け過ぎて行った。 れは親子三羽の雀でカンサス・

定價

往端野付新型場人と十銭締得付提来の場入四十銭

**脚及登記公告** 

ら飛び出して来

ルド」號の外 た『ブレシヂ ホルトンと彼

頭上をドツク

逆算する方法をとる

時に、協定脱文は次の通りである

貧陋に闘する質地調査のため内 山電話の朝鮮重要輸出品の統 金山で語る **幣田調査課長** 

部積本所強度局長と曾見の後六日折から南鮮視察を終つて米笠した 签、五日府内の大小工場を視察、

足城へ赴くが、五日正午閩南道

を開催、上京中の今井田政務總監 ノ内生保供楽部に於て株主思読官【東京電話】生保部館では五日丸

七月中旬に延期警察部長會議

大改正として注目を

制度師の要求が譲りたあるので、た、因に内定した引受院敦は三萬郡道等りは者とく、内地側に統一拓磯校の引受につき、財協戦を行つ野時に於ける新興報出品報車のを指き難に引受けに内定した幹瀬が脚の際離る

正、原原、 は、 いよくと月上海路 おける駒柳的大阪正として社会された発展、いよくと月上海路 は、 の一般のでは、 の一ののでは、 の一般のでは、 の一般のでは、 の一般のでは、 の一のでは、 の一のでは、 の一のでは、 の一のでは、 の一のでは、 の一のでは、

選舉で最高版を以て 郷次即氏は五日午優

**燃祭する、統制質施の可否に「乃至四萬様である12各地を十日乃至廿日の原定」** 20各地を十日乃至廿日の原定「乃至四萬様である」 2000年の東北が頼りにあるので「た、因に內定した」

調査局無田調査派長は四日夜水

生保協會引受 鮮満拓殖株の

展都に立寄り八日午前七時卅分京

三萬乃至四萬株

我最後的態度を通告

の正式回答要求

レット大臣の言に何等の誠意なし

村井總領事から報告

羅家各一名田席矢

|基||百卅回前後で大脳前年眷嗣と||歌することくなり、これに伴ふ意

氏をして今 回の曾談

総置するものにあらずとなし、り とくして散磨した 内務省企圖

【東京田語】腹蹠事業の取正に作

知つてゐるので彼女は宦の鳴響 別は青山について 除されてゐる▲ の面がカンサ 本ホルト 上海まで飛ん

de Ao

のミッワ石 轍本舗 丸見屋商店 類品部 東海県 100 編の14 東海県 100 編の14 代表(ロコニー)

(送料不要) 低語か小器管或ひは郵票 低語か小器管或ひは郵票

理用は地域で加州の (2000) 昭和 (200 地方税制の改正

上川 商議會頭 上川 商議會頭 は相當の時日を取す るが、数料性の

「上「電話」三日の仁川間識が影 十時十分加騰 常理した官田 #二方の内

内容明記 小平勳氏監督製劑

### 原附當時の資料もと緊張とを、 然たらどんなであつたらう。歌集 人が持ちついけて来たらどんな 心とを、日本歯氏が持ちつじけ) 脚界大震火災順後の習作ちと解 社織 水遠の原動力

# 嘘のやうな人體の神秘

學界の謎と奇蹟

# 變色人間や風船人間の話

あつたらう。日清戦争から日数

女(變色人間) 像も及ばねやうな不思読が敷々ある。 だ人體の神秘の観察には達してゐない。其處には一寸想。 近代階壁が如何に臣足の諷影を見せたとは云へ、まだま。 (一)カメレオン 起り、件の男の日から青い頃が吹 大概程(も少し大袈裟だが)」

**岑色の皮膚が緋色に盛り次は桃色。て新聞のコシップ腺を駆けしたも** た人院。「日後には仮女の富雄地り」照明したが、時は火を吹く男とした人院。「日後には仮女の富雄地り」照明したが、時は火を吹く男とし 立病院に入院した。婦人思路に起 建って来た。 歴代とし れは、間の下部に思った図る観書 のたの食物が異常に水く間中に厚 に敷容されてテレンス・イースト

欠単だの単だの単化類質内に総つて当つて今にも確認しさらな状で一一火を吹く男。 るで風報主もつくりなお化けにな れ上り初めて難も頼も願もないま の男の額から上が見る見る丸く膨 るぞうな無意の心、それ

ないかと言ふのであったが患者は

を出したがそのうちの一人は脳の 他の交通事故が起り数名の疫情者

た。ところが難いたことにはこ

米國のボートランド近郊で自動

(三)風船人間

目倫敦のさる原因で醍醐中の中年 生する「極のガス振出現象である」態を記したのである。吃能した臍 師が壁で、底因を調べて見るとこ

愧がないので、前車を一番買ひ、 たのその国民的感情と緊張と無 我たらんとしたが、 つてゐた。組織の氚を聞いて がこれは少し習進でない話し

て行った遠端、突如大き響と共に「出し窓く破壊を受れた」言ことで「は八分も断けるというのに天文観えて、雄寸を磨り水を口許に得つ」り皮膚と一部を切り裂いて意言を「の窓門瓶な戦策であるが、東京帝男が幕間に戦争しようと観察を叫「みか皮下に漏れてかくの始末と戦」されは音韻樂者が観測師を敷いて

はもう戦は滞んでゐた。彼は

クの復興のためには、<br />
生ご

旞返されました。この大僧には五千人以上で十二歳以下の小學代表 生が出

(葛展け大きなタイプライターに打たれたその指領歌) 子供とタ

アマチュアのための

男は早速キングス・カレケデ病院、學名をガイチリゴと呼ばれる器病 な蝶のもらにほろ!へになつて動けれる。 かある。この病類にかくると皮膚一の日き無人は白くなり過ぎて達に されてゐるが屢々見られる病気に (四)白人より白 病院にこの病気にか一での話。人院患者中に一分間百万 大喜び、大甕な際になったが、こ 白人ならぬ白人になって孔った。 (五)耳の鳴る男

### 果京科學博物館觀測隊は なめ る新話題

新製入时のアルミ鏡で 門光上光冠の正體を探る

- 「18度、「苗民をあべて見ると」、間日発……黒い太鵬への職心は人れに高から吸ふ鬼がどうしたはず「窓の無額を示してゐる、……だが、 出して来たため・脳世界人の状态。村の東京大文戦に建るのは神田技・膨縄戦高に、太陽を投記して、太陽に対する第二に戦党項目が謎一番の元と大部分があなくなり三鷹。 出版して、時間違の分ま中、

一迄の八日間『子供の週間』が開催されるので當地の小學生徒ので名全来の小學校に大きな指符狀が 小學生大會の招待状またである人見中六日より七月三 の翌門師な祇究であるが、東京で「日午後二時二分に始まる所謂初點 と午後四時三十三分後間の時刻を とは朝子の繁而に、銀の代と午後四時三十三分後間の時刻を とは朝子の繁而に、銀の代 館唯一人の天文學者鈴木敬信氏は一郷定する郷備を行つてゐるが、廊一 館屋上の二十種赤道産率で、この クトルを撮影される声、アルミ題 し、関光スペクトル順に光超スペ

天文合政虎尾正久氏が科學博物館「があると期待されてめるれがため日食當日は三騰河の東京「晴天に惠主れ、はずばらしれ海道都内の飜淵随地に出職、そ」れば優るすのほなしる者もれません。 銀の代りにア

不注意のために

自由 撃校は デンマータ 國民に

「裏供の佐桜を腹貫して現骸した」製造銀に入って來た太陽を日輩上 居るを見て、「たガラスを服むるのがよい」(3)一時に並んで製る場合には「を顕言し墨かい。」といるガラス突は鑑賞などで「光明する放賦さい起る

工

のとして意外に異深い

の如く酸表した

一殿の人々が日食を觀るに

研究家のために日金融副出を左 (2) 京道館や双眼鏡を用ひて観 た、

る時は必ず色ガラスを造して観る

こと、これなだれたら、眼を焼き 醤み

野學博物館では一般の業人天 | ものだと、理想能である

眼を焼かぬやう

ルンドウキヒの國民學校と共に

質し酸動力の使給源として、

インゲの 學校は 存在の 目標

學校は死に制する生のために野

しかしそれが成就したら使

脚物館では、第日やはりこの

ローアの慶興

年は七割五分、第五年七割五分、第三年は五割、常

青三十二宛規則正しく時計の神一思ふと、一九二〇年にはフラン もよみさらにもなく語音も匙を持

帳と中耳とを結ぶ脱溝の壁面に沿 この男のウリスタンスでい即ち暇 に観測鏡を挿入して心系した結果 摩子は先づ腰患者の咽喉及び鼻腔 脚合作へ齎した最告説明によると 金に撃銃自殺を決意し念よ自殺の 時引金を引いた瞬間グッと来たシ

一概の神經病の結果子の刺戯によった話。ニューフアウンドランドのあることを終見したのである。一交五年間シャックリに苦しみ重し ってある一つの小脳核中に膨敗が の度にウースタシュ者の口が開職 てこの筋肉に痙壓的收縮が起りそ 又五年間シャックリに話しみ通 損ねた事性もあつた。だがこれ 既る百姓ながその

> ほりするととや部屋部屋に選ずる水流の鳴る音など身の周り の餌々したことまでを削珍しく愉しんだ、遊ともなれば家の

この婦人は葉ひにも頃 ある。彼女が痩せ衰へた幽難みた

> シュミッドボ ボンを描

して件の怪音を出すと微はこの奇

能に原配は英國では新りままれて ドイツでは非常に有名であるウ 形式をかりた自叙博として書か 職に後の作品は英國向き

ベンの生ねた家を買取るのに興つ 彼の相父はポンのためにペートウ て力があったが、少年は眉気を手

ハトン大學の學長ルーシイ・フ ボストン大學長が與へた十

見知らぬ諸に許す勿れ 二、汝は態寒なる愛術に耽る

汝は誹謗の因襲に配慮せずる。取つたが、第四の脱縄について

删第

附錄

及店遊園全 りあに店料材園寝名有

、数は隠語を使用せざったうに



た。空点

大附録の壯觀

県界空前の壯舉

記念特輯縣

是ぞ全寫眞家垂涎

1000 を収めた全寫眞家垂涎の現寫壇を代表する寫眞作家の名作各一葉 一百餘枚の名作各一葉 一百餘枚

一々に制作データーの刷亦原印書の諧調を一大寫眞畫集である。

■ 指標たらしめた。

### 現代女學生に頂門の一

**質用技術記事は例 運用技術記事は例** ・本き現寫眞作書 ・本き現寫眞作書

**大増刷敢行** 

汝は単中にてダンスの仲間人

放は公開の場にて飲酒する勿 で何ともいはなかつたのを不思

個人能くあれ 豆圖書館

『徒然草分類索引』を讀みて 國文學界に一 研究課題を示唆す つの新しい

### 月刊

| The state of t **鬱州・陰陽学県・職 定價六十銭 三朔一の小型カメラ指導雑誌**!

#「小型原板の現像」
六月特輯號

月號

保町工一電話九段(二)七五京神田・投資東京二四八天八 T

選手をあやまらせるのはファン

緑風わたる池畔

慶南西工技師

府當局で對策講究

今秋の水稻作と救濟を陳情

とになり時備中 るため上日盛大 るため上日盛大 

衣笠 産婦 婦 婦











系分を壊快ならしめます。 類和し、微熱を消退せしめ 変和し、微熱を消退せしめ 藥用外

炎膜肋

はのは云ふい 

『京都」、別キ山下守備院院の関軍、自禁公職と野戦に理能的な人意画が出来。「お江武寺事・貴代」て現在の地断が成立、「お江武寺事・貴代」て現在の地断が、「京州」 既来・邑を局では地荘の「田地一萬十五百人十二年を借用。

守備隊の跡に移轉

四公園會館は自慢もの

**凄い観察で縦横に感想を語る** 

-機嫌の安井知事

施設は結構

に虫水 术之术

强力純ヴィタミン路製劑 (専員特許) 一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、 惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養 粉末・錠劑・液劑・注射液

本社 東京 京橋 ラチウム製築株式会社 出扱所 京都・福岡・奉天

良れな孤兄に輝く光明

慶北で満洲へ移民計畫

史生

所主任着任 中國仁川辨事

任 吉田 町治

脚氣と栄養に

慶北の警察網强化

高来 婚

獾

好夫 茏

を來すものとして多大の注目 四は本林、公州開が清州へ来征

迎 し し が が

常

長台 須田 嚴

各地薬店にて販賣す

まで事態頻直してゐたところ一日とつては狭勢のほかはないところ

生活樣式を綜合的に調べ

執行してゐたが、今日では既に強 許当も配和状態に速したので必要

歩を崩撃、各種の畜産、旅館をは

| TEOM## 五〇月 | TEOM## 五〇月 | TEOM## 五〇月 | TEOM## 五〇月 | TEOM## 五〇月

斡旋で行ひ、茂山郡三長面と延祉。内鮮人の移住を本府及び咸北道の

により地跡を展定せずに各地から 白薫園を驥出し六ヶ年の籐饌事業

一島選等によって一般粉を製造するの

城視察 安井知事開

【開城】新代安井京宗道州事は佐一整経名、耶鵬、が都高雪、好壽安一子オ精漢を行つてみる【開城】新代安井京宗道州事は佐一整経名、耶鵬、が都高雪、好壽安一子オ精漢を行つてみる

調示を與へ、中食後異質局出版所」要望を敷取、析験項一所に「羈の要望を敷取、析験項一所に「羈の」

開城局員の體操

成異』発退を目削に河崎威奥路 用面本局公立書通學校は大豆化

河崎咸興署長の不忘碑

本宮普校後援會で建立

守を指置し常に山内を清潔。

開城の各種

氏けこれがために神谷陰鬼名庭で一の事業計畫はピート・ルートによ

を明設し事業に着手した、同盟場 る聖教工場をも設置し、百合、馬

一般発行に當つでゐる

多数の出迎へを受けて開城者、隋 日午前九時四十四分者列車で官民 壁で官民に接見し、府形より所勢

低な関長の仕事好きな性格の一端でいたの頃らかな新龍は吉岡新

であるが、着任僅か一日ならずし、させて廿九日午後三時趣列順で窓であるが、着任僅か一日ならずし、一台をして廿九日午後三時趣列順で窓

| を認めなくなり六月 | 日以降は献 | 重等を栽培することになつたが、

**冷害窮民を救ふ** 

取り残された三水郡には

した近慶政子夫人重に今回天君の一を問島小學校議覧に開催。 避仕後も引動き神議員として活動。た研开篆子夫人を送る送會長として顕瞪結成に遊力し會長」本省陽朝に伴つて削會長

蘇聯監視船に

道費を搾つて潤す

共に面影側の緊急する物が江下海東されてゐる多類點附近の趣紙と

の航路標識設置のため専門的立場

無料兩替

発全く成つ 新

経際通過版での便を図り去る一日 配宴を確づた経際通過版での便を図り去る一日 配宴を確づた

四見を抱った

妙な女乞食

謎を遺して大連へ

変師の来新は将来伸入な底臓を殺したので、間、んな観測器に昵談したので参類感報が観光に向つた、間、んな観測器に昵談したを無務で重複なこととなった。 を発見している。 を無務で重複なこととなった。 を無務で重複なこととなった。 を無務で重複なこととなった。 を無務で重複なこととなった。 を無務で重複なこととなった。

松崎技師伴つて鴨江下流視察

のてゐたがこの程度工、五日能幕のてゐたがこの程度工、五日能幕のてゐたがこの程度工。那就の制誠を驱めては武々。 一次民の大理石で『成典繁経常長調 一次民の大理石で『成典繁経常長調 一次民の大理石では武く『順報表の意に吸し島さ

▲六日松高瀬市場で京城の野東 日午後八時から相合湖で全郷内 日午後八時から相合湖で全郷内 日午後八時から相合湖で全郷内 日午後八時から相合湖で全郷内 日午後八時から相合湖で全郷内

耐立された學校だけに同校後援曹

高麗青年曾では左の含

著長の軽能により朝空の影附で

美座知事に道民期待

根本的對策を樹つ

を折

「羅索」成形成山殿地における移」右國作林は四千市百七十九町歩は | 対 一、五〇〇 八三三世紀 | 近東山殿地における移 | 貴州を受け、三下六百六十七町歩 | の記載の下に大器四千人の杉住民民職第 | 成形成山殿地における移 | 右國作林は四千市百七十九町歩は | 計 一、五〇〇 八三三世に114千世を30年度 | 121~11

神谷農塲主が六年掛りの大計畫

愈よ初年度の事業に着手

り、国政部たる領継の田標如何に

を言や、接取費の開闢と将来に を引き、接取費の開題だけとない。 では、接取費の問題だけとない。 では、一般ので減してあるので減くも を引きます。 では、一般のを深入してあるので減くも を引きます。 では、一般のを深入しておいては、下野田棚総支 を引きます。 では、一般のを深入しておいては、下野田棚総支 を行うます。 では、一般のを深入しておいては、下野田棚総支 をいる。 では、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般ので減くも では、一般のでは

宗正」とは整備局の距離も学しく一般の誘語を描んで逃走した那人劉

【寒山纲】既聚、閩岸長日府自衛 取逃がす

◆五月中の貿易額

・ 大田中の貿易額

・ 大田中の貿易額

・ 大田中の貿易額

國境の關所に

女税闘吏を採用

婦人の檢査は女性の手で

鮮やかな新税關長の第一

| 発り彩読不明の館版四名と合して「ほ質は瞭域の態能として五ヶ年間」のたことも触った。| 発り彩読不明の館版四名と合して「ほ質は聴域の態能として五ヶ年間」のたことも触った。| 2000年11月11日 | 1000年11月11日 | 1000年11月1日 | 1000年11月 五月の總額五百二十七萬圓 白七十萬圓の増加 貿易

題れた戦争の野猫業も最近ボッ

配れた咸州の野漁業も最近ボッ 梅前は卅男称合語九百卅餘称に達成興] 潮流異戦から著しく漁州 | 端川四百七十橋、群峨三百八十三

動中の治水本部

漁種通信に選し始め四月地在|した然し現在這の漁運は全部帆船 | 窓を振つたに商下

三州人慰安會 [成]

飛行は清貮飛行盟のコンディーつた

お化粧を急ぐ

赴戦高原の名勝

今月中に施設完成

汽動車も運轉開始

惠山の傳票詐欺

**亚饲期比:于四百九十八两八千四** 百七十三四九千三百六十圓の増

月日日の条門に於ては前

鰛巾着網漁

八百州国となつてゐる、智慧品

【繁】鼠機船は石綱漁業の許可

出資者朝鐵側が讓步し

接收費十二萬圓投出

やつど復活

二分裂単で帰任した 定期飛行 新京清津間

度も飛ばずにゐたが修理下事も完 昔を響かせた。 この

新決根 療局治 法所硿

界驚異の尿道殺菌偉力 數十萬の全治者の例に明白

治療患者數十萬の例をもつ長き歴史に基くのである。

初感染、慢性淋病に對し特質最强點

事後に本郷の駅の一回を用ふべし、末期に淋躍の機能を終わ談じて状況の

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

根治は一日も速かに淋病の進行性を恐れ

は野地式に明白なり、野蛇でありケンゴールの際路がありケンゴールの際路方の脱壁の親密方無きは明確なる

新發賣(普及品)一圓九十錢

参號(婦人用)あり神証文は御明記を乞ふ。 注意――の號(初感染と食物用)夜號(奈性用) 武器 慢性用) 平京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地

品切の節は直接網代理店へ 日東製藥合名務社製品

全国要店にて販賣す、

明發大の生畢生先榮藤佐 

長院病原吉廓遊原吉京東前

断部によりまだ日取は暗定しない式離行の部であつたが耐断器長の 萬二千国で前年より三百石多い年の出墾世定數は一千七百石、四 【開版】開意郡では來る二十二日 惠山八幡祭 一千七百石 李氏母堂告別式

ケンゴールは 特殊薬

7、19東十四は、台間三百九十一鉄道に減しめて石ら、四四十九代、収棄十三代、修郷十 とを繋び即可指令前の産業者手を百四十九代、収棄十三代、修郷十 とを繋び即可指令前の産業者手を回収さればなられた。

運轉手試驗

在中華線の監線動から象面されや「行為もなく、かくては帝国の蔵籍(清潔)石川縣水産試験船日山北。あるが統正表演計等に對する不法ではりて、土とで、土とで、土になる。 おっぱい おんのでその不法に對し一端を喰

**宇捕されんとした** 

避びんとするか財配税非常に出目 蛇の上にいかなる雄大な態膜策を 軽唯一の不衡害を目配して平北道

喝喰にす

佐か三日にして多い場合を削すして 変素を関すると対象のである。一方 のであると対象のである。一方

るた面洲國側の航路標識が設置さ 同氏の調査の結果、多年要型して

感を極め今巻解水後五月天まで蔵 | これ等の家屋には進からず取扱し「蔵輿」 肝内の家屋建築は依然批 | は市町地路職策定地に建築された

建築を嚴禁

市街地計畫を控

惱まされる咸興署

特に倒指定下さい。 ギンロケンゴールと 築合名會社 プラオン 求めに際して日東製

水品の代用薬は断じですから履所薬には てありません。 伊賀 文献進星 二五或人約4月第3月中間 二五或人約4月第3日 円 八〇成人約4月第3日 円

HAT- TEO OF

M

7

ŋ

Ŧ

ンル

含モ有ン

法製

医生光響整 顧 土牌學園 本讀產安 是進代無窮攻込申

安

產

讟

本

は本生の実體とちがひまして不出意によってすべに色力の解集になる場 近畿に着人の生理的紙化でありまして軽減ではありません。

さらのであります。 近畿中には異種に大きな機能を施するのであり、 からあるの観光なしに近っておくとなかへものつかの疾患に振り出れるなる。 迷惑を起したろ、 職し子供が出来です。 のみならで把親自男の生命を危

くするやうな色なの概能になります。

**働って食むな心配は不要でありままが気がの出意が欣覧であり** 

乾

(日爾土)

( <del>/</del>\*\*

は除り注意せられなかつたのですが最近注 を拂つて頂きたいものであります。大體妊 を拂つて頂きたいものであります。大體妊 を拂つて頂きたいものであります。大體妊 を拂つて頂きたいものであります。大體妊 を拂つて頂きたいものであります。大體妊 を拂つて頂きたいものであります。大體妊 は除り注意せられなかつたのですが最近法。 で拂つて頂きたいものであります。大體妊娠の方は妊娠に際して産後の養生や育児は、は可なり重きを置いてゐられる傾向が法には可なり重きを置いてゐられる傾向が法には可なり重きを置いてゐられる傾向が一般の方は妊娠に際して産後の養生や育児

ことな見が生れようとは信じ、 こいと言ふ話楽の傷に大し、 これにはネオブルトーゼと言ふ話楽の傷に大地になるを楽が非常

窓 不 集 が の 変 素 不 集 の 変 素

低 藥 廉價 **五** 千 錠 Ŧ 百八十號人 毹 入 λ 個八十分

娩分兒女の百二貫一らか體母の餘貫九



等の攝取に充分意を用ひればなりません
等の攝取に充分意を用ひればなりません
ないますに対しても非常な影響を及ばすのであるやうになるのです。これらの笑養は妊娠中毒症と呼ばれる妊娠中毒症と呼ばれる妊娠中毒症と呼ばれる妊娠中毒症というのである流産や早寒を変して先づるやうになるのです。これらの笑養は妊婦がき胎児に最も必要なカルシウム燐の強いに充分意を用ひればなりません。 特にお类の致しますが須な荣養業を含み産科産が須な荣養業を含み産科産がである安産保健薬の服用がである安産保健薬の服用がである。 錠; やんが生れますから 服用を勵行すれば丸 が産院から奬用を受 がまといい。 の如き産前の養生に

店 商 吉 友 澤 藤 社會式株

町門小西府城京。 町本區橋本日京東。 町修道區東市阪大

光に大豆は北よ

資庫を買

**養蠶、牧畜、鑛業や海外に誇る、寧越煙草** 

泌めたる質庫は拓けゆく

である アラウス 素を残り は、これがいいない、これが内地の「分解医子質気化とつないで丁酸素が、相、酸、完整等であるが、ら内地へ移出され、音楽山脈を超、革新の 重要な 指動をな すもの 致治 (中) と特殊権効として集 から (中) と特殊権効として集 (中) との名前がつけられて仁川か ら傾向があり、頻醇の歴末組改な。 実 雑穀類のほか滋養。 山大豆の名前がつけられて仁川か ら傾向があり、頻醇の歴末組改な。 実 雑穀類のほか滋養

えて元山に出るものは元山大豆の あらうと営はれてみる、朝鮮第一ら内地へ移出され、音楽山脈を超 革新の 重要な 指動をな すもので

レッテルが貼られ、これ交内地の一の養護王國慶北につよいて不既道

脂帯とは一種どんなものか、印

も集中された世界の目、耳の配

あるが、京談、慰北の産来は南北

米の主産地は慶北の南部で

がけて難やかに移出されてある。

最りついけた間のは例を格

温制的に不衡生な施設の改装を総除して異党を徴収する外、當局が

**《陛村振興は先っ健康から《をモー直撃禁部と協力、慌集清廉防の建一い家庭が相當ある機様なので、** 

振興と疫病退治策

ある家庭には、府の「撤除人夫が撤」の三つに區分し、年牧干五百圓以

を思り、既一雅を設けず放置して

生費の懲収は戸院就等総を甲乙内。日目底に弱つてゐる、また現在南

ら『病都』

器道局では六日(土曜日)京元總

母子の身元判

逍遙山で停車

個野山朝鮮財配で大師の路繋祭を

島案の徹底をはかり明明な既有「向である

事項として提出、不見井戸水の鑑(日コンクリート語り共同井戸は一)振憩な忠政ニュースは本紙を飾り一中である。」 してある、帰山田部泉君は出土の職に・井戸水町造の性・を指示。 発散に選挙することになつた、な 物が武成のオソンピック・ユニース、地収用令を適用するべく財政課院 大の容はれを彼めようとい

## な衛

金麗を贈り得ることとなつた 次く型所は四日目毎に、鬼来に七を活つてゐた京城も、衛生施認の 賦、銀終賦の都心は眠日、これに入府に及び、能來取何痿郁の汚名「뾊世遺の必露によつて異るが本町 三ヶ所の處分所へ運んでゐる、な よつて衛生都市の面貌をそなへる

地で大師院新書盛祭を掘してゐる一大師の降誕祭 山では各一大師の降誕祭 山では各一

事させる

安全と人でした世界の体體さん。数に影響技術に優れた手腕、銭から二国・不鏡までに消亡されている。

観覚された母子の現代程に ドイブ通は 有名なもの

紅田地質牧着々選び中であるが、牧、九月から工事者手の食定で扱 世里上水道は、八月中に用地を買

足域間の第二次水道顕電工事の歴

優出をもつて 一般民衆を 欺綱し

保安、衛生の各族を督師、嬰問出するので、鎮路者では引

電話(代)1960番

常な関係者は、他の領域を対象を表する。

京城德力 京城明治町 1572:3088:3688:30:30

告に限り特に宮圃にて携載す 観宵料金は削納の事但就職闘 顕五十銭匿名は一回毎に五十、 五號活字十五字語一回五行一、

淡 京日案內

西水門的41(裁判所處通)

薬の誇大廣告

鍾路署で取締

水道用地 收用合適用

哀れな女の身の上

豫て水上器で調査中だつ かつて厨園で新陶記者として湿眠。買取用地十萬坪の中紅五萬坪の買

『分離は府がこれを所有すること ることが出来、また汚物の所有、

吸量が二千石、應芥取立戸敷が 全市を六部に分けて監督を開 萬戸、一日取立節が十四萬間

御少汰あり、不治大日本體補助として金一封御下腸の 出場することになった趣を ソク大質に投が日本選手が **大皇陛下には、今夏旧林で** 東京は活】 體育御駅助に 沿され、同版遺録の御 大御心を注かせ給ふ 第十一回オリンピ

金一封下賜 我選手に







してゐるが、無質の脈俯や、永い 改良運動を起し、コンクリート造即で爬行深壁の非岸水散良を驟墜、微道や忠層道では積極的に井岸の

特別記事寫眞に自信を持つて

**研究本社長は名取特所員の選問に** 

本述へ改二貴國ノ教証ナル御名
カニ関シ、諸腔ノ敬意ヲ表スル
カニ関シ、諸腔ノ敬意ヲ表スル
エア・コースルリンオリ
エア・コース版列を
世界平利ノ張湖ダラン事ヲ新類

変立的を極め、威雷暴山線で球が、一、場所、長沙町炒心香別院が多窓へて腹にそれから白鷺山 | 日午後一時 十一日午後八時、七二年度 | 日午後一時 | 1、返週 郷之人生

、 関係を関く、一般来郷を震迎する。 により京城技術所の最近六日午後二時1子内 が開いて十日間城の4、左記日紀 が入場するが、七日高城最を輸出する。 により京城技術所がの等的版で4、 が入場するが、七日高城最を輸出する。 が入場するが、七日高城の4、 が入場するが、一般来郷を震迎する。

巡査を嚙む女

獨逸の三氏へ

メッセー

ルールッ大臣、ギクターロシ し蜀逃ヒトラー宰相、ドクタ

オリンピック質長の二氏に

人山丘部と顔度料スキー山丘形合「て出穂、一家に、北郎に彩え来だ」で、半島の山脈としては至く末期がと前に燃ゆる若人らの地域が城、リーダー 伊藤黄夫郡に 引奉 され「長瀬湖にベース、キヤンブをおいいを、終える対総下に征服せんと「総師山丘部戦等は戦」ヶ月復定で「せんとするのである、それは歳化

厨で進めてゐる、來る七月十三日 ] 人足の入つてない由々を悉く

禪の講演會

妙心寺で

召喚取調べを行つてゐる

**東咽喉科醫院** 

濟談

京城駅前 20次温度業份 別級艦貨機帶來店に限る 20次温度業十六歳以上通

貸

家 あり写演所三八七彩 山 聖 作 田 聖 作

清册 大

文

中、法のは、日本の主要を表現の主要を表現の主要を表現の主要を表現の主要を表現の主要を表現の主要を表現の主要を表現の主要を表現して、これを表現の主要を表現して、これを表現して、これを表現して、これを表現して、

**本開拓の狼林山脈拓いて** 

梁をゆ

名取本社特派員伯林へ向ふ

最後の練習を行ひ伯林の第、若言選士は北海の地に人城、京城で故園 「ほるべく、今や暦本我園スポ

で、何れ本旨の顧事相通计畫の立には好條件に惠まれてゐるの出來つゝゐるが、趙丰朝鮮の礎

忠北南部と魔北の安東中心以南に と折けて米、薬、難觀、灌蠶、相

な二つの傾仰を備へてみるので將「正畹子の他の主要海(撃めては船」な二つの傾仰を備へてみるので將「正畹子の他の主要海(撃めては船)を入って東海岸(三)・野珍、 に移出されて詐戦も長めて良い、一ペマキの職党が無蓋戯に産出されく、命も良質のために内地その他、音楽山脈中からはコルクの戯精了

平島郡あたりにボフノー 牧場が ・ は、 健に未だ初期で、 れる は、 性の場がら最度を阻害されてある さいふやうな が (数二十二百トン、トラックで報出

質の木炭になつて都市に選出する。 新史 は無盗職、クヌギは上 ン、トラツクの輸送數量も干八百

機神病者と**物り**旅館主に命じて保

英石(た)は、四日夜自発の一隅に

岩離を最上げ欧火してあるのを家 京城四环町二八茶版館正省人於祖

事部語 | 指数とはるかに突破するものが多

が魍魎は漁鹿の生命を観察を以っ一木・美三郎翁は八十三歳のを輸び 八十三の老翁が 體験を語る

丸職インキ 丸譜スタンプインキ 丸音サエッタインキ 丸蓄製圖用インキ 強 補 精血



最も煩雜で而かも些細の誤謬をも許さ ない計算事務も國産タイガーの御使用 によって簡單明快に處理出來をす 從つて誤算は勿論檢算等の不必要な腦力を 絶滅し事務能率を百パーセント豪排する事 が出来ます 足間 150器以上 カタロの間温

タイガー計算器株式會社 東城出張所 原域開水中級ニノニーニ(標準本品的級) ・工場 大照市度度用度専中商員ニノ ・虹場 大照市度度用度専中商員ニノ ・組織の 「東京・根板・銀本名古田・改自・報傳・大路・指な・幸戸・

外動行員採用 外動行員採用 外動行員採用 の影形落にして中等學校以上の の影形落にして中等學校以上の の表形态に近り浴光密質に一て手顧 ある方 でおに依り浴光密の方は自張度 す毎に依り浴光密の方は自張度 

特别至贝

+

|の恋原を関して四日京城で観い戦||で北石と袂つた、茶天、ハルビン||に合意すべく、五日本献で打合セルにとてラソン選手遠は今年こそ||午町三時五分京城通道の園殿列車|||洋乙助氏は、エルナ天人同伴これ || 次戦して盛飯戦中だ――これに戦||へ向ふ、殿りの本部は楽る廿二日|| ひしつしあるが、本神猴ば戯名取

正覧をつくして歩いてゐる二十三

大脳ぎ 中を網路高段が 飛押へん

とのみで氏名不詳、服怯からみて と、瀬神宮書らしく、住所は竹添町| 所で山梨勝人館、同日午後入時よき、笑ふのをやつと眺めて調べる| 學校、七日午後一時御成町の集館 とする巡査に贈みつき、果ては近|學校、同日午前十一時より第山小

下腹部を刺す これも精神病者

けふから三越で

娼妓の出奔

た州徐島を陳列して六日から四日

けふの天気

特別立替

朝鮮的醫品打本店部語

い代の要求に整大合利的他利使を 出理報で書、共の他記述金融大覧 全見和日井側側打は是非典質な 各無社を観光打き、 一直域が本町五ノ一四 合名書館、第一奏 世 市話本版でき、「

ATHENA

PARTICIONAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE PAR

チン チン

粕

電標 日 GREEK B. 52

ij

ホシイナ

H 垅 りにもせよ、躯狡からの変術、造 『摩田と仰つしゃれば、お美しいの思ひがけない事物で、まぐれ葉 『さら、どうして?』つてるた寒寒武の離代にも、猴子 すい……』 通へる際、美しくなつて来なると じお行所でも、農林省とか、暦三一~』 いてゐることは、自分に許嫁と定民一つ、徹に不滿らしい直採の動 **署は自分の爲に自然がわざ!~作** それは愛子が指折って待つてゐた は、鮮銀理事の娘として何民へで一『うくん。だけど、どうして?』 められてゐる、宗便家の周一郎が 知事からは記念品と、首階の際墨 からと申上げるよりございません 花便りに賑やかな、四月廿日: 思樹、倭城嶽の佐樹――と、桜の皇殿姫の楼の花庭道、講師の郷 で暴してゐるだなんて、憎らしい 然によると……多少の不安の交」にはどんな壁でもお似合脈はしま 此の目的の愛子にとつせは、何一をかけて結ばせて載きますから、 今までは、何かの部合の際にも どんなにいくだらうかーーっ一で、未だよく髭が結べないのよっ 急に自分の歳を思ひ出してみ 春を侍 迎へるやうに、顔一杯愛想笑ひを E谷々結構でこざいますと あ ら』 をして、傍に助手を空へて、野部、地町のメット自い仕事者に、きり、と身仕度してらいる。 と思って?」 ね。で一つ今日は小野が腕に燃り 御小野は此の翳り高い少女の恋を 『お、少野さん、私學校出た形り 大きな化粧鏡に向つて籠を下ろし 『えるの大丈夫よ……』と愛子は 「左続でございますねる お押さま 『ねえ、どんな壁が虫の顔に影っ』でこざいますこと……。 おび音 が四時かつかりにやつて來た。化しなの…… 電話を掛けて置いた美容師小野 宗學生式(終) 一 職人 帝 同七時〇一分(東)朝の修斎 同七時〇一分(東)朝の修斎 門や、高い石脈文でも大そう側立(ヘず、寰子は上の空で跳を含せてのねえ)。外から理原出來る側 …… 何が、そうかも知れないか参 ()一十四) 丸山脂大四局六時三〇分(東)基礎佛語書所 派で、中は父、どんなに……。 吾 遊脱ね……。 鮮銀の器は既で……」お様い方を討りのお集りでせらか 々風情はマア申せば外から押見ず 『まあ左続でございまずか。結構 -後霧時五分(大)吹奏樂 |持時間各上時間 消費時間 六日の番組 **汽油争頭血戰譜** 土曜日了 放 と上の方にある郷 殿は四四金どの局面 送 光大袋▼飯大袋▽山 あた。 同六時( O分( 東) コピ 大日)桃谷渓寮所より中観「田客時三五分(大)図民敷謠(第一日の本)のでは、「田客時三五分(大)図民敷謠(第一日の本)のでは、「田子の本」という。 『ホ・・。面目いお響さま――。その家族の貸なんですもの――』 だわ。今夜のパーティは行戦と、 たら、貴女だつて矢暇行かれる郡のハズさんが酢銀に出てゐらつし 野さんパズさんあらつしゃるんで 『斃なのねえ……。でも、若しそ 『まあ、お選さま急に妙なこと仰 勘孫 **製重品教育研究會** て報酬を求めぬこと、この慈悲か 7 マ・テナー選唱 歌劇 「兵々」 マ・テナー選唱 歌劇 「柴々」 デリーライオネルの歌唱・柴々 デリーラストラー 歌劇 「柴々」 大人」ラストラー 歌劇 「柴々」 後を無監に持ち給い方を排配とお ひ表はし方があると思ひます。私 0 張く大きいものですから色々な言なつたものは、その四無難心に近 想は楽しみを興へること、 解教精神、それはほんとに 金易二郎 1、 行連曲「ビーシャン」 (古代希腊人が興毎日後にした四 (位 古代希腊人が興毎日後にした四 (位 大変接の一つであつて、其重症な (四 1 に 下 ) が (1 に ) で (1 づくために努力精進したいもので こざるます 《 すかと魅ったがある戦神標》 《 すかと魅ったがある戦神標》 **職参りに出かけると神様の** 墓室まいことかにこにこにのを授かつた。正兵衛さん なんだが正直路で通つた正 この大事が、早速神構へお が思くて一向に繁昌しない 兵衛さんどうしたことか通 つて神探は正直高が大好き『正直の頭に神(宿る』とい -私共五互に母となるもの、 /プラノ獨唱(イ)欲劇ト 指 椰 林 三 三 大阪市音楽隊 八阪重話教育研究會 愛小遊り

ります。文この他にも金襴とか岩/屋ぞ小眼の文句にもある、竹の住/不寿から逃れよのやうな願きを誇った日本刀があ の山中に糶ね住む身となりました。 | 細水香之趣はその変人で新吉厩格 の美とい窓び、嘘ら待つ事は出来 |ない、早く豊方を、私の暖い心に 夫人 に壁が、エフゲン、クレイン氏 に壁が、エフゲン、クレイン氏 |歌詞太意、私の好きな人は今いつ 北澤榮(ソブラノ)カラス・ロ劇圏の花形歌手 ソプラノ獨唱 マリオ・ロイヨ 風味をひきた 滋養調味料を 味自慢のこの てる文化的な 和洋料理の お薦めいた 頭痛 來ないと云う、アイーダは怒り女 O STOP 食料品店・百貨店に 御交際。 何處の御家庭 でも歓迎され ます 贈答品として

> 社會式体造製トマト畑愛 鏑本ス 村野上外市量古名

・ であたおよみ(九重)には著 みに其身の界来の為に一つには変 、現場をといってあたおよみ(九重)には著 みに其身の界来の為に一つには変 、現場り変してマルー・ であると悪と質に幸滅にする為に がてきた であした でありません あい きあせて 添し とが続しいのでしたお でした が結局は幸福であらうと友の言葉、思ひ出さないではは天國へ行くおが結局は幸福であらうと友の言葉、思ひ出さないではは天國へ行くお 一度はおふみを斬つて自分も死な の燃えつつある今の内に跳れた方 先づ動きます香之進も 

| 「日本の | 日本の | 日 であるのでした。とある日の事前 人間は暮して行けないのかーとい ねて來たのが香之識の炭の本多晋 ら事を考れずには あられなくなつ ーをもな無い響でもそれ上では

| 標語アナウンサー 安静 | 同六時(東)少年少女獨唱大

遊物器 東 武器 同七時五〇分(東)浪花節 萬器 贈営アナウンサー 安静 直之

七日のき、物

唱る。

新曲連獅子 ft

舞台劇等许殿 茅の屋根 喜多村緑郎,

金屬研究室餘談

亦村繁隆

石その他に脳節したもので俗間に一に茅の屋根――の嬉しかるべき生 硬屋の遊女丸重と脈を逃れて吹叉

際はつて來た不思議な力をもつた

傳説に掘れて来る超人間能な柳葉

例へば街くから芝居、郡るりとか

關係した飲かい語をいたします。

が私の本業でありますが、今晩は 金原材料の組織、構造などのむつ

の研究室から扱け出して金融に

同一時二〇分(東) 映画劇 英悲 (補) 娘々祭實況

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

. 蒸盤断上波吸塞

た、晋三郎は香之進に向ひ家の島

光は消えらせた

一王のアムネリスを思ふが改であら

お前のためお前の美しい目の前で

いお前の一つのカタミによく見て「有つたら自分量と一緒にこのエチ」的のお母さんの顔をよく見て下さ、アイーダはラダメスに頑贋の愛か ラダメスは振遊者になることは出 アイーダはラダメスに真實の愛か

へ、今は消え、われは死にゆく、

おれは先に行く、かばかりの幸を すて入、幸をふてゝ 歌劇「アイーダ」より 歌劇「アイーダ」より なんと思つたに、アムネリスの緩 スの二重唱 スの二重唱 スの二重唱 スの二重唱 といきげよう、早く逃れて、あの をいきげよう、早く逃れて、あの をいきげよう、早く逃れて、あの をいきげよう、早く逃れて、あの をいきげよう、早く逃れて、あの をいきげよう、早く逃れて、あの をいきげよう、早く逃れて、あの をいきがより、なるりスの緩

・ では、までは、土はかすみこめ は、土はかすみこめ は、悪いしてさるか、我をはせぬか、人を決しまり、我、既のあなたに、「難く砂をふみで、「今までこうにアイーダ、何か用事がの傷めども、そっぱいできれ、ふるふ手に柔かき」、「悪いしこうに、貴方はアムをいるがという。」と、「おに逃げる事になる」と、「おに逃げる事になる」と、「おに逃げる事になる」と、「おに逃げる事になる」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはなる。」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」と、「おしなさるか、我をはせぬか、」というない。」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「おしない」と、「ない、」」と、「ない」と、「ない、」と、「ない、」、「ない、」」と、「ない、」、「ない、」」と、「ない、」」と、「ない、」、「ない、」、「ない、」」と、「ない、」」と、「ない、」、 が、人、之意まで魅ふに行きなさい、 チ アムリスの 許へ、心を 決めた、 共に避れよう、渡しい総の圏へ、 出 なく録の総へ、渡しい総の圏へ、 美しい森の国へ、それは、単独なしい速げよう、早く逃れて、あの い、隠しなさるか、我を信ぜぬか

東東

井田 京 榮堂



ある生彩を興へます

M P 3 8